

2017

国立大学法人

福島大学
概要

NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION
FUKUSHIMA UNIVERSITY
OVERVIEW AND STATISTICS



国立大学法人

福島大学
Fukushima University

目次

CONTENTS

学長メッセージ	Message from the President	1	収入・支出決算額	Closing Accounts : Revenue and Expenditure	22
新生福島大学宣言	Declaration of a New Fukushima University	2	科学研究費助成事業	Grant-in-Aid for Scientific Research	23
中井プラン2021<改訂版>	Nakai Plan 2021 Revised Edition	3	外部資金	Funds from Other Sources	23
福島大学ニュース	Fukushima University News	4	役員員数	Number of Executives, Faculty and Staff	24
沿革略	Chronology	6	入学志願者及び入学者	Number of Applicants and Enrolled Students	24
組織機構図	Organization Structure	8	学生の定員及び現員	Number of Students	25
運営組織図	Governing Structure	8	卒業生数及び修了生数	Number of Graduates	26
学群・学類・研究科・学系	Educational and Research Systems	9	卒業生就職状況	Employment After Graduation	28
・夜間主コース(現代教養コース)	Course of Liberal Arts for Modern Society	11	外国人留学生数	Number of International Students	30
・研究科	Graduate Schools	12	奨学生	Scholarship Students	30
・学系	Researchers Department	13	附属学校の定員及び現員	Off-Campus K-12 Schools	31
学内施設等	Campus Facilities	14	国際交流会館	International House	31
学術刊行物	Academic Publications	17	学生寮	Dormitories	32
サテライト等	Satellite etc.	18	大学会館	University Hall	32
国際交流	International Exchange	18	土地・建物面積	Properties	33
歴代学長	List of Former and Current Presidents	20	建物配置図	Campus Map	34
役員員	Administrators	20	部局等の所在地案内図	Location of Offices	36
経営協議会委員	Management Council	21	部局等の所在地及び電話番号	Contact Addresses	37
教育研究評議会評議員	Education and Research Council	21			

裏表紙 シンボルマークおよびその由来



「地域と共に歩む」 福島大学

学長 中井 勝己

President NAKAI Katsumi



福島大学の第3期中期目標では、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に貢献できる“地域と共に歩む人材育成大学”として使命を果たすとともに、「21世紀的課題」が加速された福島における中核的学術拠点として、一層の発展をめざすことを謳っています。

福島県は震災・原発事故から6年が経過した今でも約6万人の県民が県内外での避難生活を余儀なくされる状況が続いています。被災地にある福島大学は、発災直後の平成23年4月に「うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)」を立ち上げ、本学の専門性を活かして被災者・被災地域の支援活動を行ってきました。さらに、本学は長期にわたる放射能汚染の自然環境への影響を調査研究する機関として、平成25年度に「環境放射能研究所(IER)」を設置し、国内外の研究者を招聘し、国際的な研究を進めています。

人材育成の観点では、平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)において、「原子力災害から地域再生をめざす『ふくしま未来学』の展開」(平成25年～29年度)が採択され、復興の担い手たる若者の人材育成のための新たな教育プログラムを実施しています。また、平成27年度には、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+事業)において「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開」(平成27年度～平成31年度)が採択されました。震災からの復興に取り組み7年目を迎えた福島県において、震災・原子力災害から地域再生の担い手たる若者の育成と同時に、若者の地元定着への取り組みが求められており、COC事業「ふくしま未来学」による学習成果をもとに、県内の企業、自治体、大学と一緒に、インターンシップを始めとした若者の地元定着を促進する取り組みを進めています。

このような中、平成29年1月には、第3期中期目標・中期計画期間終了後を見据えた震災・原発事故から10年にあたる2021年度(平成33年度)までに本学が目指すべき方向を示す「中井プラン2021」(平成27年1月策定)を改訂し、改めて皆様に提示させていただきました。

この「中井プラン2021<改訂版>」をもとに、現在、福島大学では、福島県の農業の再生・復興をめざし、食の安全・安心をはじめ日本農業の将来を担う人材を育成する組織として「食農学類(仮称)」の設置準備を進めています。あわせて、既存組織の見直し、教育改革(入試改革を含む)を一体的に行う「三位一体の改革」に鋭意取り組んでおります。

引き続き、「地域と共に歩む」福島大学をご支援いただけますよう、宜しく願いいたします。

新生 福島大学 宣言



福島大学は国立大学法人として、2学群4学類12学系の新制度として新たに出発しました。2005年4月、この新生福島大学に新入生を迎えるにあたり、福島大学の理念、教育、研究、社会貢献・地域貢献、大学運営の基本原則を宣言します。

福島大学の 理念

(1) 自由・自治・自立の精神の尊重

福島大学は、自由、自治、自立の精神に基づき、大学の自律的運営が保障される高等教育機関として、その使命を果たします。

(2) 教育重視の人材育成大学

時代と社会のニーズに応える人材育成大学として社会に貢献する専門的職業人の育成をめざし、教育重視の大学として発展させていくとともに、市民に愛される大学として地域社会に密着する大学づくりを進めます。

(3) 文理融合の教育・研究の推進

人文科学、社会科学、自然科学の専門領域の旧来の枠組みのみにとらわれない文理融合の教育・研究を、柔軟な構造の下で推進します。

(4) グローバルに考え地域とともに歩む

海外姉妹校と教育・研究交流協定を締結し、海外留学制度の充実・外国人留学生の受け入れと交流を進め、国際的視野を深める教育の充実に努めます。社会人を積極的に受け入れ、地域における学習機会を拡大し、地域社会における諸問題に関する教育・研究の発展に寄与します。

教育一 知の継承・ 人材育成

(1) 自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間、社会に貢献し社会から評価される学生を育成するために、本学の少人数教育の伝統をさらに発展させ、きめ細かな教育を実践します。

(2) 文理融合の教育を推進し、キャリア形成教育及び就職支援指導を充実させ、広い視野と豊かな創造力を有する専門的職業人を育成します。

研究 一知の創造

(1) 真理の探究に関わる基礎研究から科学技術と結合する目的型研究に至る卓越した知の創造に努め、新たな学術分野の開拓と技術移転や新産業の創出等、研究成果を積極的に社会に還元します。

(2) 人文、社会、自然科学の学問領域や、基礎と応用などの研究の性格の差異にかかわらず、構成員が学問の自由と自主的・自律的な協力・共同をもって研究を進める環境を整備します。また萌芽的研究や若手研究者の育成に努め、常に新しさに挑戦し個性を引き出す研究体制を構築します。

社会貢献・ 地域貢献 一知の還元

(1) 大学が有する知的資源を積極的に地域社会に還元し、学術文化の継承発展とともに、教育・健康・福祉等生活基盤の整備充実に貢献します。そして東北・北関東の知の拠点として、世界に向けて発信していきます。

(2) 地域に存在感ある大学づくりを進めるため、地域社会への貢献にとどまらず、日本・世界への貢献にまで視野を広げ、さらに産官民学連携の活動を効果的に推進し、わが国の産業・経済・社会・教育・文化の持続的な発展に総合的に貢献します。

大学運営

(1) 大学の目標を達成するために、学生・院生、大学教職員、附属学校園教職員等全ての構成員が、男女共同参画の理念を踏まえ、それぞれの立場で大学の諸活動へ参画することを保障し、大学の民主的運営をめざします。全ての構成員は、相互に尊重し、大学の自治を発展させます。

(2) 大学運営において、高い透明性をもたせ、全構成員及び社会の信頼が得られるように十分な説明責任を果たします。

中井プラン 2021<改訂版>

～「地域と共に歩む人材育成大学」の発展をめざして～

地域と共に歩む人材育成大学

福島大学は、創立以来、福島の地において、教育、産業、行政など広く各界へ専門の人材を輩出し、自由・自治・自立の精神に基づき、文理融合の教育・研究を推進することにより、地域に存在感と信頼感ある高等教育機関としてその使命を果たしています。

福島大学は、震災・原発事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に貢献できる「地域と共に歩む人材育成大学」として使命を果たすとともに、「21世紀的課題」が加速された福島における中核的学術拠点として、一層の発展をめざします。

教育

地域課題に創造的に取り組むことのできる人材の育成を推進します。

教育改革の推進

●「文理融合」を発展させる「問題解決を基盤とする学習」を教育理念とし、現代社会における多様な背景を踏まえた教育改革を進めます。

教育改革推進のための組織整備

●教養教育、専門教育、教職教育等、本学が取り組んでいる教育活動を全般的に点検し、教育改革を推進するための組織を整えます。

入試改革の推進

●学生が社会で自立して活動していくために必要な力(学力の3要素)を適正に判断する入試制度を構築するとともに、その力をさらに伸ばして社会に送り出すことを目指します。

「21世紀的課題」に対応する教育プログラムの整備

●「ふくしま未来学」を本学にしかできない特修プログラムとして発展させ、復興を担える新たな人材育成機能を充実させます。さらに、「ふくしま未来学」の学習成果をもとに、若者の地元定着を促進することを目指します。

●グローバル人材育成に対応した教育プログラムを構築し、社会のグローバル化に応える教育活動を推進します。

●震災後の福島県固有の教育課題に対応した教員養成機能の高度化を図ります。

●震災後の食と農業に係る安全への問題に対応できる、学際的な思考力と高いマネジメント能力を備えた専門人材養成を推進します。

●理工系人材育成機能の強化を図るとともに、再生可能エネルギー分野の人材育成を推進します。

●環境放射能研究所の研究実績を人材育成に活かします。

基盤教育の充実と質保証の検証

●アクティブラーニングを採り入れ、人材育成をさらに強化します。

●共通(教養)教育を基盤教育として発展的に見直すとともに、学生の意欲に応える専門教育を追求します。

●夜間主コースの役割を明確化し、制度の見直し、運営体制の整備を行います。

学生の学習環境の整備と経済的支援

●老朽化した施設、設備を計画的にリニューアルします。

●附属図書館の自学習スペース(ラーニング・コモンズ)での学習支援を充実させるとともに、その他の自学習スペースの整備についても引き続き追及します。

●給付型の奨学金である「しのぶ英奨学金基金」を充実させるとともに、学生生活への支援のための「学生教育支援基金」を継続的に発展させます。

研究

福島における研究拠点大学として使命を果たします。

「21世紀的課題」が加速された福島での課題への積極的な取り組み

●少子・高齢化の進展、コミュニティ崩壊、エネルギー問題など、震災・原発事故後に福島において加速化されたこれらの課題は日本全体の課題でもあるため、本学は積極的に関わり、これらの課題解決に資する研究を推進するとともに、その研究成果を発信します。特に、国家的課題である廃炉に関する研究、福島県の復興のための主要施策の一つである再生可能エネルギー研究に積極的に取り組みます。

環境放射能研究所による国際的な環境放射能動態研究の推進

●海外研究者を積極的に招聘するなど、環境放射能研究所の体制・機能を強化し、環境放射能分野における国際的先端研究拠点として整備を進めます。また、環境放射能研究所の共同研究拠点化をめざし、その成果を地域に還元するとともに世界に発信します。

イノバティブ・ラーニングラボラトリー (ILLab) による「未来創造型教育」の構築

●イノバティブ・ラーニングラボラトリーにおいて、OECD東北スクール及び地方創生イノベーションスクールの活動により得られた経験・知見を、新たな人材育成プログラムの開発研究へと発展させます。

外部機関との連携による研究の活性化

●地方創生を目指し、地域の自治体、民間企業及び他大学等との連携による共同研究・受託研究を進めることで、研究を活性化します。

社会貢献

福島創生の中核的な知の拠点として貢献します。

地域の中核的な知の拠点

●福島県及び地域社会が抱える課題の解決に貢献する活動を積極的に行い、社会の活性化及びイノベーションに基づく産業の成長に貢献します。

うつくしまふくしま未来支援センターの発展的改組

●中長期的な視点にたち、うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)を改編し、復興や振興に資する組織として一層発展させ、地域に寄り添う支援活動を継続します。

福島県・国等との密接な連携による復興への貢献

●福島県復興計画や国によるイノベーションコースト構想などを踏まえた活動に積極的に関わり、福島創生の一翼を担います。

教育研究組織の整備

社会ニーズに合致した教育研究組織を整備・充実します。

食農学類(仮称)の創設

●震災後、食と農業に係る安全への問題から、福島県における農学系の専門人材養成の必要性を望む声が高まっていることをうけ、平成31年に食農学類(仮称)を創設します。

「地域農業の諸課題に対応できる学際的な思考力と高いマネジメント能力を備えた専門人材の育成」と、「農業生産性の向上や農産物の高付加価値化等に関する技術開発など高度な研究」を担う教育研究システムを構築します。

教職大学院の設置

●平成29年度に開設する教職大学院において、震災後の福島県固有の教育課題に理解を深め、幅広い視野を持った教員(ミドルリーダー)を養成し、福島県の教育の充実を目指します。

大学院既存研究科の再編

●食農学類(仮称)設置及び教職大学院設置を契機に、地域ニーズを踏まえた研究科の再編をします。

入学定員の増減、現専攻の改廃、新専攻の設置も視野に入れて必要な再編を行います。

既存学類の見直し

●食農学類(仮称)の設置を契機に、既存4学類の在り方を見直し、大学全体として魅力ある教育研究組織体制を構築します。

管理運営

「オール福島大学」で大学改革を実行します。

●全教職員が情報を共有し、一人一人が役割を自覚し、やりがいを感じ、活躍できる職場環境をつくります。

●「IR推進室」を設置し、本学の業務に関する客観的データの収集と分析を図り、恒常的な大学改革を推進するための活動を行います。

●役員会・教育研究評議会・全学各種委員会等の会議運営を見直し、理事・副学長・副学長補佐の体制に基づき、責任と権限を明確にし、効率的な管理運営を行います。

●「オール福島大学」をモットーに、教育研究院において教員人事管理を全学一元的に行います。

●新たな人件費管理の手法の導入による学長裁量経費等の確保により、戦略的な資源配分ができる環境にします。

●本学の財政状況を見通しながら、総合的な財務戦略機能を高め、社会のニーズと変化に柔軟に対応できる財務構造にします。

●福島大学創立70周年(2019年)の記念事業に取り組みます。

福島大学食農学類(仮称)平成31年4月設置構想中

福島大学は東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故以降、地域と共に歩む大学として、「うつくしまふくしま未来支援センター」を設立し、ここを拠点に地域の復旧・復興支援活動を行ってきました。その活動の中で、自治体や地域の皆様から「農学系学類」の設置を求める声を多数いただきました。福島大学はこの声に応え「食農学類(仮称)」設置を目指し、福島県の農業の復興・再生に向け学際的な思考力と高い実践力で食料・農業・農村問題へ主体的・創造的に対応できる人材を育成します。

※食農学類(仮称)構想の内容は予定であり、変更する場合があります。

■新学類の概要(予定)

[学類名称] 食農学類(仮称)
Faculty of Agricultural and Food Sciences
[開設予定] 平成31年4月(1年次)
[入学定員] 100名(収容定員400名)程度
[専任教員] 38名程度
[専門コース] 食品科学コース、作物・栽培学コース、生産環境学コース、農業経営学コース
[学位名称] 学士(農学)
[設置場所] 福島大学金谷川キャンパス内

特徴①

食と農をつなぐ！ 「農学専門教育」

タテ割りではなく、有機的に結び付いた「4つの専門コース」で総員38名程度の教員が密に連携した教育を行うことにより、確かな専門性と学際的な思考力を養います。



特徴②

福島県全域がキャンパス！ 「農学実践型教育」

福島県全域を教育のフィールドとして、地方自治体・農業関係機関と密接に連携しながら、地域が抱えている課題の解決をめざす5~10のプロジェクトを設置し、教員総員で運営します。プロジェクトの中で、学生は地域に通い、課題の発見から解決策の提案までを経験し、専門知識を応用する実践力を身につけます。



福島大学公式
マスコットキャラクター
「めばえちゃん」

福島県が抱える課題解決へ



ウクライナ、キエフでのSATREPSプロジェクト開始式典の様子

福島大学環境放射能研究所(IER)は、平成28年度、地域との研究活動懇談会を初めて開催しました。IERでは、福島県の避難指示区域などを主なフィールドとして、各地方自治体の職員や住民の皆様からのご理解・ご協力のもとに日々の研究活動を実施しています。その研究成果を地域へフィードバックし、参加者からの率直な声を聞くことを目的として実施されました。

また、12月には、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)平成28年度新規採択研究課題「チェルノブイリ災害後の環境管理支援技術の確立」の研究協力プロジェクト開始にともなうワークショップを開催しました。本研究プロジェクトは、チェルノブイリと福島国際共同研究プロジェクトです。チェルノブイリ原発事故から30年以上が経過した立入禁止区域では、冷却水供給池の水位低下、立

入禁止区域の再編および汚染森林の火災に関連したモニタリングと予測の強化が課題になっています。これらの分野の研究に基づき、周辺地域の住環境等への影響観測も含めた、当区域内の利活用に必要環境管理技術強化の支援を行います。また、日ウクライナにおける環境放射能分野の人材育成も行います。



福島大学では、平成27年度より、「福島での課題解決」に結びつく研究を重点研究分野「foRプロジェクト」に指定しています。福島県の地域課題の解決に必要な研究を行う単年度のプロジェクトを「foR-Aプロジェクト」、福島県の地域課題解決に必要な研究であるとともに、国策としても重要な研究など、特に地域・社会ニーズが高いと認知されている、将来的に大学の価値を高める(大学の特色となる)ことが見込まれる3ヵ年度の研究プロジェクトを「foR-Fプロジェクト」としています。



「foR-Fプロジェクト」研究の様子
農地の放射能計測土壌診断など

平成29年度には、「foR-Aプロジェクト」として『「二層の対流」を促進するユーザー創発型地域交通のデザイン』、『共存型人支援ロボットの開発およびその関連技術の開発』、『原発周辺地域における放射線被ばくが野生生物に与える影響の解明』を指定しています。また、平成27年度より「foR-Fプロジェクト」として、『放射性物質循環系の解明と食料生産の認証システムに関する研究』および『福島第一原発の廃炉作業を加速・支援する難分析核種の迅速計測技術の開発』を継続指定しています。

※「R」はResearch、「F」はFuture、「A」はAreaの頭文字。

COC事業 「ふくしま未来学」の多角的な展開

平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業(COC)」に選定された「ふくしま未来学」では、学類の枠を超えて全学生に開かれた特修プログラムを開講しています。双葉8町村をはじめとする12自治体や企業等と連携し、被災地復興及び地域再生に寄与する実践的教育を展開しており、原子力災害の経験を活かして、地域課題を実践的に学習し、未来を創造する人材の育成に取り組んでいます。

むらの大学

地域実践学習として、南相馬市と川内村を拠点にした宿泊滞在型のフィールドワークを1年間で複数回行い、地域への理解を深める「むらの大学」を実施しています。さまざまな立場の方からお話を聞いたり、農作業や文化活動に取り組むことで、学生が住民とともに学びあう場を創出しています。学生たちは、東日本大震災・原発事故による現状や課題を学ぶことはもちろん、今後、他地域でも起こりうる問題や地域再生へのヒントを現場から実際に学んでいます。

また、「むらの大学」を受講した学生たちは、自ら課題を設定し学習を進める「自己学習プログラム」を活用して地域での活動を継続しています。平成28年度には、川内村産の食材を使用した“川内ピザ”を考案しイベント等で提供をした他、学生自ら南相馬市へ通い有機農業に取り組み、栽培した野菜を調理してカフェで振る舞うなど、地域の魅力を広くPRしました。

ふくしま未来学入門

平成27年度に開講したオムニバス形式の授業「ふくしま未来学入門」では、受講生が地域と関わるための素養を身につけ、課題解決型の思考を養うことをめざし、地域課題の解決にむけて行動する実践者の取り組みや経験について学んでいます。平成28年度には、学生と一般の方あわせて362名が受講しました。

みらいバス

連携自治体と協力し、福島県内をバスでめぐるスタディツアー「みらいバス」を定期的実施しています。学生や教職員が、県内地域の伝統や人々の温かさに触れながら地域活動に貢献する等、全学的に地域と関わる機会を提供しています。



COC+事業 ワンデイ・インターンシップを実施、キャリアサポーター制度を創設

平成28年6月、平成27年度文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択された「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開」の取り組みの一つとして、1年生を対象とした短期インターンシップ「ワンデイ・インターンシップ・バスツアー」を初めて実施しました。これは、若者の地元定着を目指す本事業の第一歩として、まずは1年生に福島県内の魅力的な事業所を知り興味・関心を持ってもらうことが狙いです。県内企業22社の協力を得て、希望者約540人が参加しました。今後は、2年生以降を対象とした中期型インターンシップも実施していきます。

また、県内企業等で働く若手社員が「キャリアサポーター」として、学生のさまざまなキャリア形成にかかわる相談役となる「キャリアサポーター制度」も創設されました。学生へ情報提供や助言を行うほか、県内企業の魅力を発信する役割も担います。平成28年度からは学生との個人面談を始め、懇談会・交流会等を実施しています。



ワンデイ・インターンシップ・バスツアー (株式会社元気アップつちゆにて)



学生×キャリアサポーター大交流会

沿革略

Chronology

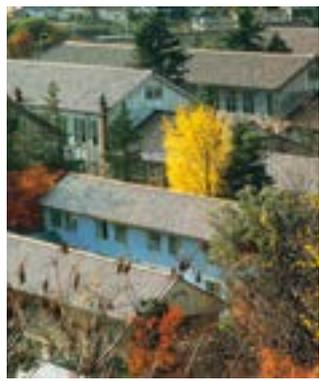


福島大学

Fukushima University
昭和 24.5 設置
(平成 16.4 設立)
国立大学法人



旧浜田町キャンパス



旧森合キャンパス



移転当時の金谷川キャンパス

1949(昭和24)年5月31日、法律第150号国立学校設置法により、福島師範学校・福島青年師範学校・福島経済専門学校の3校を包括して、学芸学部と経済学部の2学部を持つ福島大学が設置されました。

国立新制大学の入学者選抜は、第1期・第2期に分けて行われ、福島大学は第2期に行われました。選抜の結果、学芸学部293名(4年課程101名、2年課程192名)、経済学部は161名の合計454名の入学が許可されました。

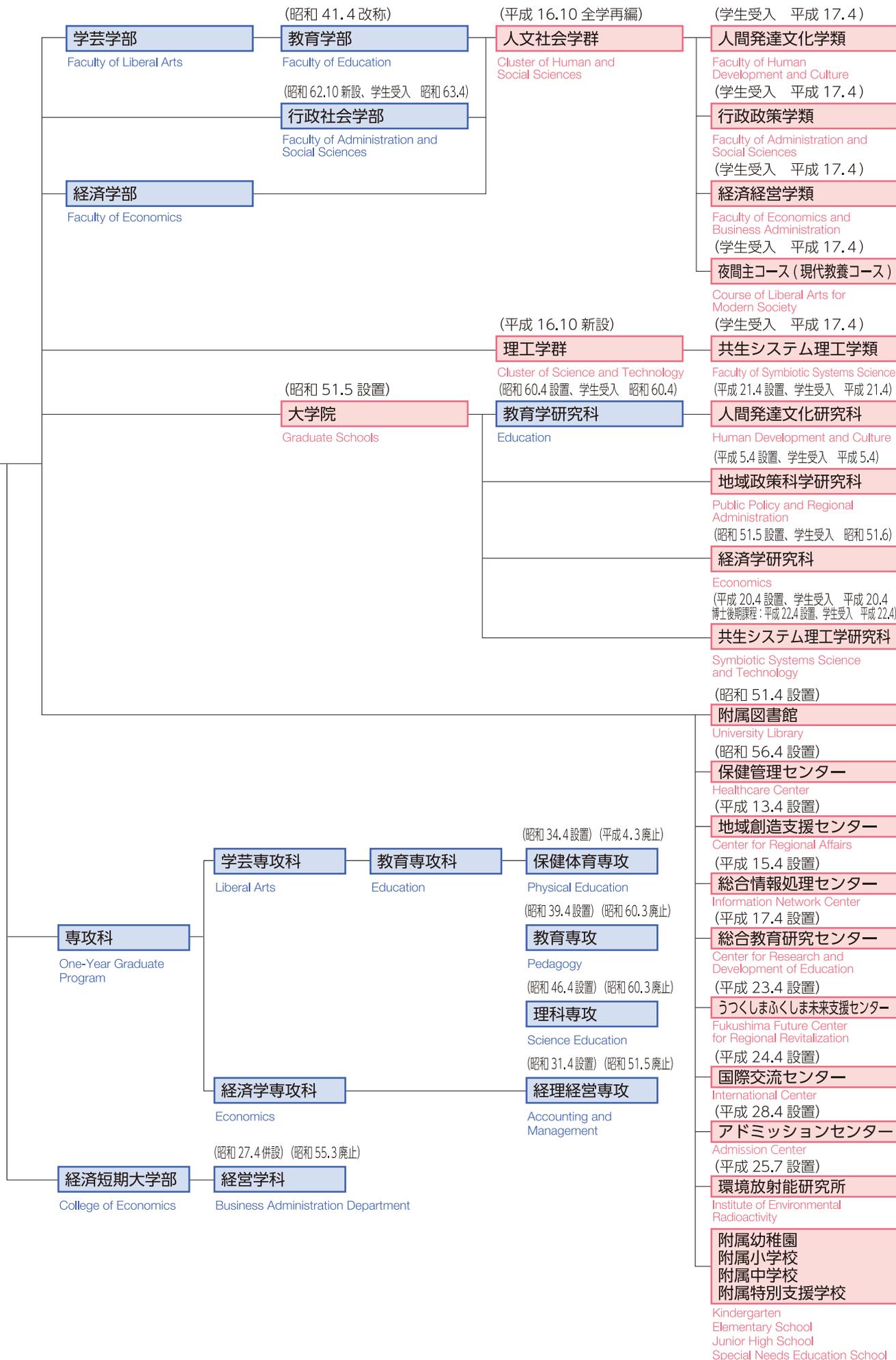
学芸学部には学芸部と教育部が置かれ、学芸部の中には人文科学科、社会科学科、自然科学科が、教育部の中には教育学科、教育心理学科、各科教育学科が置かれました。研究・教育の組織として全31講座が設けられました。

また経済学部には14講座が設けられました。

学芸学部は市内浜田町に、また経済学部は市内森合の2つのキャンパスに分散していたため、昭和54年から昭和56年にかけて金谷川の地に統合移転しました。

昭和62年10月に行政社会学部を増設し、平成16年10月、国立大学法人化のなかで理工学群共生システム理工学類を創設し、新たな出発をしています。

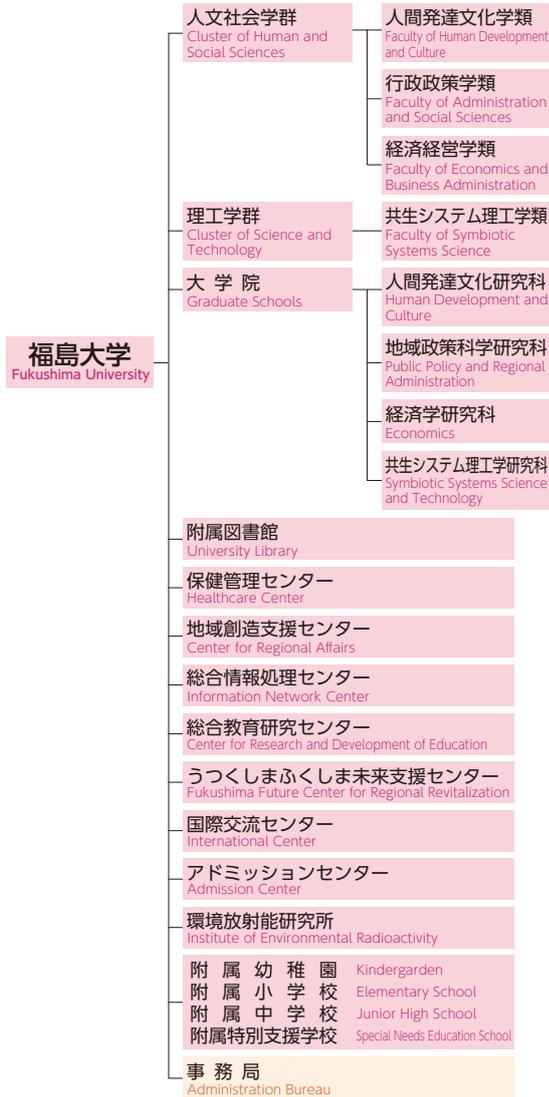
旧3学部を継承した3学類を人文社会学群としてくり、理工学群とともに2学群4学類の教育組織を実現するとともに、全教員が参加する研究組織として12の学系を構築しました。また、人文社会学群には、伝統ある社会人教育を継承して、夜間主コース(「現代教養コース」)を有しています。大学院についても既存3研究科とともに、平成20年4月には大学院共生システム理工学研究科を発足させ、充実した教育・研究を推進しています。



組織機構図

ORGANIZATION STRUCTURE

2017. 5. 1

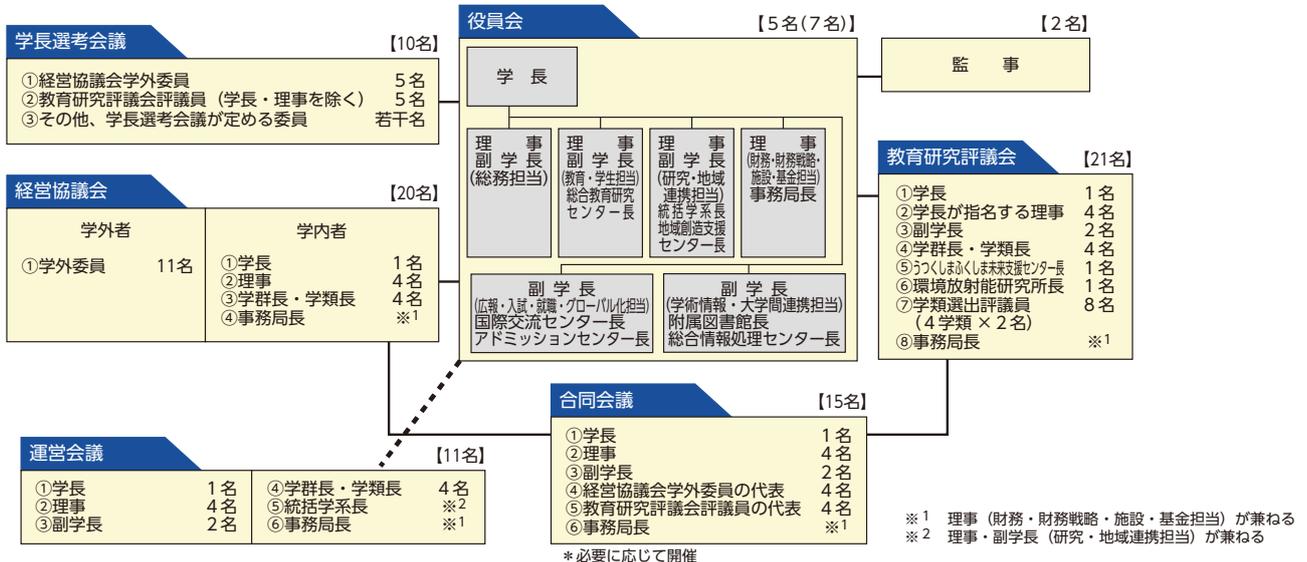


《事務組織図》



運営組織図

GOVERNING STRUCTURE



学群・学類・研究科・学系

EDUCATIONAL AND RESEARCH SYSTEMS

学群・学類(教育組織 Educational Systems)

福島大学では、教育組織と研究組織を分離した「学群・学類・学系制」を導入し、教育や研究における教員の相互交流を推進している。人文社会学群に「人間発達文化学類(旧教育学部)」「行政政策学類(旧行政社会学部)」「経済経営学類(旧経済学部)」の3学類を、理工学群に「共生システム理工学類」を置いている。人文社会学群には社会人教育を担う「人文社会学群夜間主コース(現代教養コース)」を設置している。

人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences

人間発達文化学類

Faculty of Human Development and Culture

■学類の紹介

人間の教育・発達とそれを支える文化の探究・創造に関心を持ち、直面する人間の教育・発達支援をめぐる現代的課題に積極的に貢献しようとする人材の育成を目的とする。学類はそうした多角的視点から人間の教育・発達支援に取り組む広義の教育者を養成するため、3専攻を置き教育を行う。すなわち、人間の教育・発達を深く理解し、その自立をサポートする教育的実践力と態度を育てる<人間発達専攻>、人間の教育・発達の基盤となる地域教育・文化に対する幅広い知識と現代的課題に挑む問題意識や探究力の形成をめざす<文化探究専攻>、人間の身体や感性の可能性を追求し、スポーツ・芸術を通して地域教育・文化を創造し人間発達の支援に貢献する<スポーツ・芸術創造専攻>である。

本学類では、学校教員を初めとし、社会の各分野で新時代をリードする教育関係者、人間発達の支援者を養成する。教員免許状は、長い伝統と実績を誇る旧教育学部時代とほぼ同様に、小学校・中学校・高等学校・幼稚園・特別支援学校教員免許状等を取得することができる。

■活動紹介 福島の教育的課題に取り組む

平成26年度から「学校教育支援実習」を新たな実践実習科目として設定した。これは、学校ボランティア活動をもとに学校での教育活動を支援しながら子どもたちへの理解を深め、現場の課題に取り組んでいくものである。また、放射線と健康に関する基礎的知識や復興教育に携わる際の実践的知識と心構えなどを学ぶ「復興教育学」も開講している。本学類では、このような学びや実践を通して福島の教育的課題に取り組んでいける力量の向上を図り、福島の次世代を育てる学校教員の養成に努めている。

学類生は大学での様々な学びをもとに、双葉郡の新たな教育を創造する取り組みにも積極的に関わって活躍している。



ふたば未来学園高校での実習支援活動

■学類の紹介

行政政策学類は、現代社会の課題を学際的な観点に立って教育研究し、地域や社会のニーズに応えることのできる人材を養成することを目的としている。法学、政治学・行政学、社会学、歴史学、文化研究、国際関係など学問分野の枠を超えて相互に関連させながら、学びを深求することが特色である。

2年生からは、(1)法学の体系履修を通じて、多様な社会現象に対処できる能力育成をする「法学専攻」、(2)地域の現状把握をしながら、政治・行政を学び、政策や計画を活かしながら新しい地域づくりを実現する「地域と行政専攻」、(3)社会や文化が直面する諸課題に、歴史的かつグローバルな視点から考える「社会と文化専攻」の3専攻により教育研究を深める。本学類では、少人数教育や実践学習である「実習・課題研究」等、学生が能動的に参加するアクティブ・ラーニングを導入した教育も特色である。

「法律討論会」風景



■活動紹介

「法律討論会」を通じた学生の成長

法学専攻の2年次の必修科目「法学専攻入門」では、毎年12月にクラス対抗の「法律討論会」を実施している。「法律討論会」では、法学専攻の教員の作成した問題について、10月からの約3か月間、各クラスで解答の検討や立論原稿の作成に取り組み、討論会当日は口頭での立論と質疑応答を教員3名が審査。一般的な法学部において一方通行のマスプロ型の講義が多いことは対照的に、本学類の「法律討論会」は資料収集から当日の立論・質疑応答まで学生主体で進められている。その過程で学生は、法律学の基礎的能力に加え、論理的な思考力、説得的な表現力を伸長させる。同時に、当日まで協力して準備することを通して、クラスの結束が深まり、多くの学生がコミュニケーション能力や主体性などの面で逞しく成長する。こうした特長ゆえ、「法律討論会」は法学専攻の恒例行事として、10年以上続けられている。



「法律討論会」優勝チームへの表彰

■学類の紹介

旧制福島高等商業学校以来一世紀に亘る歴史と伝統を有し、約2万4千人の卒業生を輩出している。カリキュラムでは、2年生前期までに経済経営の基礎知識を習得することを目標に、リテラシー科目を設定している。また、調査や演習などでの小集団教育を重視している。外国語教育も充実しており、2015年よりグローバル人材育成プログラムをスタートさせた。

2年生後期からは専攻と演習に所属する。3専攻は以下のとおり。(1)経済分析のための理論と分析手法を身につける「経済分析専攻」、(2)地域経済・地域社会の諸問題を学ぶ<地域経済政策コース>と、現代世界の共通性と多様性を学ぶ<国際比較経済コース>からなる「国際地域経済専攻」、(3)組織のマネジメント方法を実践的に身につける<ビジネス・マネジメントコース>と、主に会計学を学ぶ<ビジネス・アカウンティングコース>からなる「企業経営専攻」である。

■活動紹介

グローバル人材育成プログラム

経済経営学類では、グローバル人材育成プログラムの一環として、海外インターンシップのための講義「Work Experience Abroad」を開設し、現場で運用できる英語力を磨いている。実際に、平成28年度は、6名の学生がアメリカ・テキサス州のヒューストン市役所で約2ヶ月間のインターンシップを経験した。学生たちは、現地での実務的な研修によって英語を話すことの自信を深めて大きく成長し、帰国後その経験を報告会で発表した。



福島大学では、社会人の現代的な学習ニーズに応えるために「人文社会学群夜間主コース(現代教養コース)」を設置している。コースの中には、人間発達文化学類に対応する「文化教養モデル」、行政政策学類に対応する「法政策モデル」「コミュニティ共生モデル」、経済経営学類に対応する「ビジネス探究モデル」の4つの履修モデルを置いている。学生は、一年次には3学類の教員が担当する「教養演習」を受講し、さらに二年次には、4モデルに対応する「基礎演習」を履修しつつ、いずれかのモデルに所属して学習する。履修基準は、緩やかに設定されており、昼間開講科目の履修ができるなど、多様な学びを支援する体制を整えている。



理工学群 Cluster of Science and Technology

共生システム理工学類

Faculty of Symbiotic Systems Science

■学類の紹介

共生システム理工学類は、21世紀の課題を解決し、私たちが安心・安全に生活するために、これまでの学問体系にはない理学-工学-人文社会科学を融合した「共生の科学・技術」の構築を目指している。既存の学問域を融合したシステム思考のもとに「人と環境の共生」・「人と産業の共生」・「産業と環境の共生」の3領域で教育研究を展開する。

「人間支援システム専攻」では、人理解にもとづく、人支援の科学を発展させる。「産業システム工学専攻」では、人や環境との共生に配慮した、持続可能な循環型産業システム科学を発展させる。「環境システムマネジメント専攻」では、自然資源の保全・浄化・管理計画の科学を発展させる。また、本学類に対応した共生システム理工学研究科(博士課程)を設置し、高度専門職業人・研究者の育成を目指している。

■活動紹介

廃止措置研究・人材育成等強化プログラム

共生システム理工学類は、国家プロジェクトである「廃止措置研究・人材育成等強化プログラム」に採択され、福島第一原子力発電所の廃炉に向けた技術開発と新しい理工系人材育成を国内外の機関と連携して実施しています。民間企業では着手しづらい基礎研究と若手人材育成を、多様な分野の英知を結集してこの福島大学で実施することで、未来につながる新しい発想と課題解決型の実践的人材を輩出します。福島大学では、放射性物質の一つであるストロンチウム90の迅速分析に大きく寄与し、実際の廃炉現場で活用され、卒業生らは様々な分析機関、研究機関、民間企業などで活躍しています。



様々な機関と連携して実施している学生教育(ごく一部)

研究科 Graduate Schools

人間発達文化研究科 Graduate School of Human Development and Culture

人間発達文化研究科は、多様な現代的な教育課題に対応するため、今日、必要とされる高度な知識・技術を持って人材育成を促進させる「人材育成のエキスパート」を養成していくことを目的とする。同研究科は3専攻・8領域から構成されている。具体的には、教職実践専攻(教職大学院)には、ミドル・リーダー養成コース、教育実践高度化コース、特別支援教育高度化コースが置かれる。高度に学び続ける教員の資質・能力を備え、理想とする教員像と自らの役割を常に問い続け、教育課程を含む学校のマネジメント経験を積みながら教師力を向上させていく「教員のミドル・リーダー」を養成する。次に、地域文化創造専攻には、人間発達支援領域、日英言語文化領域、地域生活文化領域、数理科学領域、スポーツ健康科学領域、芸術文化領域が置かれる。同専攻では、修士レベルの文化的専門性を基盤に地域社会の多様な諸課題を解決するために必要な学際的コーディネート力を獲得し、さらにその力を次世代の創出に不可欠な人材育成力へと連動させる「地域支援エキスパート」を養成する。そして、学校臨床心理専攻には、臨床心理領域、学校福祉臨床領域が置かれ、自立支援・発達支援・社会支援の専門的知識とスキルを持つ「発達支援エキスパート」を養成する。いずれの専攻も学類からの進学者の教育とともに、県教育委員会の協力のもと現職教員研修の場としても機能し地域社会に貢献する。とくに、学校臨床心理専攻では昼夜開講制をとり、社会人を含め多くの学生が研究を進めている。

地域政策科学研究科 Graduate School of Public Policy and Regional Administration

地域政策科学研究科は行政社会学部を基礎として、1993(平成5)年4月に開設。地域政策科学専攻の中に有機的科目群からなる5履修分野(地方行政、社会経済法、行政基礎法、社会計画、地域文化)を設け、行政政策学類の教育・研究の学際性を継承して、個別の学問分野では捉えきれない地域社会の諸問題に多角的な視点でアプローチし、様々な問題の解決方法を探究することを目的とする。

地域の社会的要請に対応しうる高度でユニークな大学院教育の達成を期するため、社会人特別選抜・社会人特別推薦選抜や昼夜開講制の導入、さらに、長期履修制度、一年修了型カリキュラム等、社会人の再教育、生涯教育を大学院にまで広げ、地域社会が求める総合的な政策の展開を図れる人材を育成する。

2012(平成24)年度からは現代的課題について体系的に研究するための「政策課題プログラム(権利擁護・災害復興・文化資源)」を開講し、災害復興・地域再生については「地域特別研究」などの授業科目において、地域行政や政策立案に関して現地調査等を実施し、地域社会が直面する課題の解決方法を具体的に研究する。

経済学研究科 Graduate School of Economics

経済学研究科は、経済学・経営学の専門知識の習得と研究能力の養成を目指している。経済学専攻・経営学専攻の2専攻から成る。

学術的な議論を踏まえて修士論文を執筆する「修士論文コース」に加えて、主に社会人が、実務経験に基づく資料収集や調査活動を積み重ねて研究レポートを作成する「課題研究コース」がある。昼夜開講制、長期履修制度など、有識者の研究活動を支援する諸制度も整備している。

2013年度から、特定テーマに関する科目群からなる「プログラム」制度を導入し、「地域産業復興プログラム(ふくしま未来食・農教育領域)」と「会計税務プログラム」を開始した。前者は、放射能災害からの農業復興を主題とし、後者は、東北税理士会をはじめ外部団体と連携して展開している。2015年度には、実践性のある高次のビジネスリテラシーを土曜日・日曜日開講の科目修得だけで修了できる「ビジネスキャリア・プログラム」を開講した。さらに、2017年度からは、グローバルな視点で地域と世界をつなぐエキスパートを育成する「グローバル政治経済学プログラム」と、地域課題解決のための「地域産業復興プログラム(公共政策デザイン領域)」を開始した。

共生システム理工学研究科 Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology

共生システム理工学研究科は、人・産業・環境の共生を新たな枠組みの学問体系で捉えるシステム科学を基盤とし、21世紀の複雑な課題の解決に実践的に貢献できる高度専門職業人・研究者を育成することを目標に掲げて、2008年(平成20年)4月に、共生システム理工学専攻の中に5分野(人間・機械システム、産業システム、環境システム、数理・情報科学、物質科学)を設けて開設し、2012(平成24)年度には、国立研究開発法人産業技術総合研究所と連携し、再生可能エネルギーの開発やエネルギー資源の需要・供給解析に関する科目群「再生可能エネルギー」分野を開設している。

2010(平成22)年4月から、博士後期課程を開設し、3領域(共生機械システム、産業共生システム、環境共生システム)を設けて、それぞれの分野・領域の連携や実務家等を入れた研究プロジェクトの実施を通じて、新たな課題の解決に対応できる実践的な人材を育成する教育研究体制を採用している。

学系 Researchers Department (研究組織 Research System)

新制度設計のもとに教育組織は学類として、研究組織は学系として位置付けられた。現在、13の学系が存在し、各教員は自己の専門領域に応じていずれかの学系に所属し、研究活動に従事している。各教員は学系を基盤に日々研究交流を行っている。そして今日、大震災・原発事故後の地域社会の多様なニーズに応えることを重要課題として意識し、学系プロジェクトや多様なプロジェクトを通して自治体の再生や支援、農林漁業や製造業の復興・再生、学校・教育支援などに関わっている。

人間・生活学系 Human Sciences

人間の存在、生活及びその発達について多角的・総合的に理解するために、倫理的・教育的・福祉的及び生活科学的観点から考察し、諸問題の有効な解決策を模索する。

心理学系 Psychology

人間の発達、行動、及び心理・精神的問題について研究を進め、専門的知識を深めるとともに、研究成果を社会に還元する方策を探る。

文学・芸術学系 Arts and Literature

文学・美術・音楽の近・現代化の研究、東アジアの文化と教育の比較論的研究、まちづくりと芸術プロジェクトとの連携の研究などを進め、地域還元をする。

健康・運動学系 Health and Sports Sciences

現代を生きる全ての人間に必要な「身体リテラシー」に関して、スタッフの多様な専門性を生かし、研究と教育に取り組んでいる。

外国語・外国文化学系 Foreign Languages and Cultures

各国の言語・文化等について共同研究を追求し、個人研究も含めた成果を公表するとともに、地域還元の一環として地域社会の諸活動を支援する。

法律・政治学系 Law and Politics

地域行政組織や社会的諸集団が直面する再編と改革の課題や新たな地域での役割と在り様に関して、地域研究団体と協力して総合的研究を行う。

社会・歴史学系 History and Society

「地域社会の総合的研究」。社会学、歴史学の方法で、地域社会の構造と変動につき研究する。共同研究を行い、成果は地域社会と共有したい。

経済学系 Economics

共同体や市場などの過去と現在を踏まえた課題を世界・アジア・日本・地域の現場からグローバル経済にふさわしい時代感覚を持って研究する。

経営学系 Business Administration

東日本大震災によって大きな影響を被った地域社会において、新たな産業を興し地域社会を再生するために「活力のある企業」が求められており、地域企業の活力を生み出すための各種研究と成果普及に取り組んでいる。

数理・情報学系 Mathematics and Information Technology

応用数学、情報科学及び経済経営分野の理論研究だけでなく、情報ネットワーク、人工知能と経営情報システムなどの応用研究にも取り組み、多業種の企業と連携し生産物流システムの共同開発を行う。

機械・電子学系 Mechanical and Electronics Engineering

メカトロニクス技術と心理学・生理学の知見を融合することにより、安全安心で快適な生活を実現するための新しいシステムを開発する。

物質・エネルギー学系 Materials and Energy Sciences

材料・資源・エネルギーの観点から、機能性物質の創製および応用研究を行うとともに、地域の技術者・研究者との産官学連携も目指す。

生命・環境学系 Life and Environmental Sciences

生命の多様性に関する研究、自然環境や人間活動の総体としての社会環境に関する研究などを通して豊かな環境を形成する方法の構築を目指す。

学内施設等

CAMPUS FACILITIES

附属図書館 UNIVERSITY LIBRARY

蔵書数 BOOKS AND PERIODICALS

2017. 3. 31

和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total	雑誌 Periodicals		
			和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total
687,603	234,335	921,938	10,598	3,420	14,018

平成28年度利用状況 UTILIZATION

区分 Division	人数 Persons		冊数 Volumes	
	年間 per year	一日平均 per day	年間 per year	一日平均 per day
館外貸出 Loan	22,847	69.4	48,328	146.9
学類学生 Undergraduates	17,797	54.1	34,597	105.2
大学院学生 Graduate Students	1,928	5.9	5,046	15.3
教職員 Faculty and Staff	2,269	6.9	6,563	19.9
学外者 External Users	853	2.6	2,122	6.4
入館者数 Number of Visitors	332,339	1,010.1		

開館日数 329日 Open 329 days
(内土曜日 45日) Saturday 45 days
(内日曜日 58日) Sunday and holiday 58 days

※2015年7月にリニューアルオープンしました。



附属図書館
University Library



ラーニングcommons 1
Learning Commons1

主なコレクション MAIN COLLECTION

震災関連資料コーナー

Earthquake disaster related materials corner

東日本大震災の関連資料をはじめ、震災を原発・ボランティア・郷土・教育・科学・防災・産業など多様な観点から扱った資料を配置。

図書・雑誌・視聴覚資料など2017年3月現在約5,500点。

文庫 Book collections

大塚久雄文庫 The Hisao Otsuka Collection

故大塚久雄先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。

その数、合わせて図書6,058冊、雑誌約212タイトル、抜刷約1,682点、その他、ノート、原稿、講演テープ、色紙、写真、住所録等個人資料一山。

今野源八郎旧蔵書 The Genpachiro Konno Collection

故今野源八郎先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。

その数、和洋合わせて図書4,455冊、雑誌294タイトル、資料13,553点、その他、パンフレット、リーフレット、地図、抜刷、コピーなど一山。

その他、藤本文庫、藤田文庫、栗原文庫、二宮文庫、大森文庫、川村重和教授旧蔵書、松井秀親教授旧蔵書、三宅皓士教授旧蔵書、岡本友孝教授旧蔵書、佐藤恒久教授旧蔵書、珠玖拓治教授旧蔵書、下平尾勲名誉教授旧蔵書等。

大型コレクション Large collection

〔19～20世紀ロシア・ソビエト研究稀覯資料集〕

19th-20th century Russian and Soviet rare materials collection

〔ロシア帝国・ソビエト連邦法令集〕

Collection of laws and ordinances of the Russian Empire and Soviet Union

〔帝政ロシア及び現代ソビエト社会・経済研究 第1部、同第2部〕

Imperial Russian government and contemporary Soviet society: Economic research part 1 and 2

〔体育教育の歴史〕

A collection of rare books in the history of physical education. EDUCATION FOR HEALTH & PUBLIC WELFARE; from the "survival of the fittest" to "fitting the many to survive"



閲覧室
Reading Room

保健管理センター Healthcare Center



1981(昭56)年4月に設置され、1982(昭57)年3月に専用の建物が竣工。同年4月より本格的に業務が開始された。本センターでは、学生および教職員の健康の保持増進を図るために、保健管理に関する専門業務を行っている。具体的には、保健管理計画の企画及び立案、定期及び臨時の健康診断、精神的及び身体的健康相談、外傷・急病の応急処置、カウンセリングなどである。

地域創造支援センター(CERA) Center for Regional Affairs



地域創造支援センターは、東北経済研究所(1921(大10)年設置)に始まり、行政社会学部新設にともない発足した「地域研究センター」(1988(昭63)年設置)を継続発展させ、大学研究・教育の成果を地域の活性化や人材の育成に役立てていくことを目的として2001(平13)4月に全学センターとして設置された。2008(平20)年4月には、教育面における社会貢献である「生涯学習活動」を推進する生涯学習教育研究センター(1995(平7)年4月設置)と統合し、地域と大学との協働・連携を推進するセンターとして、以下の活動を行っている。

- 自治体及び産業界との連携・相談窓口業務、研究シーズの出展、地域フォーラムの開催
- 生涯学習事業(公開講座・公開授業・出前講座)及びわくわくJr.カレッジ等の地域社会連携事業の企画運営
- CERAの広報誌・機関紙の発行、地域の経済社会に関する資料収集活動。貴重資料(松川資料室等)の管理

平成28年度は、文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」に採択され、再生可能エネルギー産業の人材育成・プログラム開発に取り組んだほか、研究推進機構と連携し、福島大学研究・地域連携成果報告会を開催した。

総合情報処理センター Information Network Center



総合情報処理センターは、1969(昭44)年に学内共同利用施設「計算センター」としてスタートした。その後、1987(昭62)年に学術研究・情報教育の高度化・多様化、社会における一層の情報化進展に対応するために、「情報処理センター」に改組、さらに2003(平15)年には教育研究・地域連携のための情報発信など多様な役割を担うべく省令施設に格上げされ、「総合情報処理センター」となった。

本センターは、5つの演習室と自習用のスペースに300台を超えるパソコンが設置されており、「情報処理教育の場」・「自己学習スペース」として利用されている

とともに、「情報処理システム及びキャンパスネットワーク(FAINS:フェインズ)の運用・管理」、「本学の認証基盤となる全学認証システムの運用・管理」、「情報システムの利用についての技術指導」などの業務を行っている。

総合教育研究センター Center for Research and Development of Education



旧教育学部附属教育実践総合センターを拡充・改組して、教育改革に関する調査・研究を行なうとともに、本学の教育活動及び教育支援活動を総合的に支援することを目的に、平成17年4月に設置された。

本センターは、高等教育開発部門(教育活動の質の維持・向上・改善等)、キャリア研究部門(キャリア開発支援・調査研究及び就職支援等)、教職履修部門(全学教員養成課程支援等)、教育相談部門(附属臨床心理・教育相談室を併設した教育現場等からの教育相談等)、現職研修部門(現職教職員研修及び学校教育関係機関との連携等)の5部門が設置されており、各部門が本学関係部署や県内関係機関等と連携した業務を行っている。

また、多目的(授業、学術講演、各種セミナー、ワークショップ、会議等)に利用可能な特別教室と少人数による教育実践分析・検討、演習、研究会等ができる授業分析室の施設があり、広く活用されている。

うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)

Fukushima Future Center for Regional Revitalization



東日本大震災や福島第一原子力発電所事故により世界的に知れ渡るところとなった福島の住民は、困難を乗り越え、被災地を復旧・復興させていくという強い意志を持って立ち上がっている。

地域と共に歩んできた福島大学は、こうした人々とともに力を合わせ、長期に及ぶ復旧・復興に組織的に対応するため、平成23年4月に「うつくしまふくしま未来支援センター」を設立した。

- 本センターでは、自治体等と協力しながら、
- ・被災した子どもたちの学びや自立への支援
 - ・地域コミュニティの再生と地域産業の復興への支援
 - ・風評被害や自然環境の回復への支援

さらに、双葉郡楢葉町や川内村、南相馬市にもサテライトを設置し、地域に密着した支援活動を展開している。

国際交流センター Fukushima University International Center



福島大学国際交流センターは、海外の大学等との学術交流及び学生交流の企画・推進、留学生教育の企画・立案及び教育研究面での国際交流を図ることを目的として、平成24年4月に設立された。留学生の派遣及び受け入れ、短期留学プログラムの企画・立案、留学生の修学上及び生活上、修学環境の整備及び充実に関するサポートを行っている。具体的には、学生の留学や国際交流活動についての相談、留学生の奨学金や在留資格、地域でのイベント等についての案内や手続き業務がある。

日本人学生が留学や語学検定試験を受験する際に参考となる図書や、留学生が日本語や日本文化を学ぶための図書、英文書籍の閲覧スペースを設置しており、書籍の貸出も行っている。

アドミッションセンター Admission Center



アドミッションセンターは、アドミッションポリシーに応じた入学者選抜を実現するための具体的方策を企画・立案し、円滑な入学者選抜の実施を図ることを目的に、平成28年4月に設置された。

本センターは、入学者選抜に係る調査研究、入学者選抜結果の分析及びその評価を行うとともに、入学者の学業成績等の追跡調査を行い、全学で連携協力して入学者選抜に係る企画・立案するほか、入学希望者及びその関係者を対象とした入試広報を行うことにより、継続的に優秀な学生を確保するための活動をしている。

環境放射能研究所 (IER) Institute of Environmental Radioactivity



環境放射能研究所は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性核種の環境中の挙動を長期間にわたって調査・解析し、解明することを目的として平成25年7月に設置された。国内の大学・研究機関、さらには実績ある海外の研究者・大学・研究機関と連携して研究活動を行っている。外国人研究者も多数在籍し、世界に開かれた環境放射能研究の先端研究拠点としての役割を担っている。

研究分野は大気、森林、河川湖沼、海洋と広範囲にわたる。事故から現在までの環境中の放射性物質の挙動の解明に加え、将来の挙動を予測することも重要である。これらの研究成果は、放射線防護や効果的な除染方法の策定、住民の帰還や産業の復興など、より具体的な復興活動の基礎となる。

環境中の放射性物質の移行のうち主なものとして水の作用による侵食、運搬、堆積によるものがあるが、それ以外にも様々なものがある。ひとつは生物作用による移行、つまり生態系への影響である。この研究課題では、野生動物や魚類への放射性セシウムの移行状況調査とそのメカニズム研究をはじめ、住民の避難によって行動範囲を拡大した野生動物がもたらすさまざまな影響などのテーマにも取り組ん

でいる。また、農作物をはじめとする植物がどのようなメカニズムで放射能を取り込むのか、土壌粒子の構造や土壌中の化学成分などミクロまで踏み込み、植物生理との関連を解明することも重要なテーマである。これらは、農林水産業の復興に際して懸念される問題やその発生メカニズムを扱う研究であり、問題に対する対策策定や帰還の判断に資するものである。さらに測定機器の開発や、環境放射能のアーカイブセンターとしての機能も備える。

平成29年度からは地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム「チェルノブイリ災害後の環境管理支援技術の確立」を実施している。これはチェルノブイリと福島の共同プロジェクトとして、国を超えて次世代の原子力災害対策を担う人材育成も視野に入れ、研究を進めている。

学術刊行物

ACADEMIC PUBLICATIONS

2017. 5. 1

部局等 Division	刊行物名 Name	年発行回数 Issues per year
福島大学 Fukushima University	福島大学研究年報 Annual Report of Fukushima University	1回
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	福島大学人間発達文化学類論集(人文科学部門) Bulletin of The Faculty of Human Development and Culture (Liberal Arts)	2回
	〃 (社会科学部門) (Social Sciences)	2回
	〃 (教育・心理学部門) (Education・Psychology)	2回
	〃 (自然科学部門) (Natural Sciences)	2回
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	行政社会論集 The Journal of Administration and Social Sciences	4回
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	商学論集 Journal of Commerce, Economics and Economic History	4回
保健管理センター Healthcare Center	福島大学保健管理センター紀要 Bulletin of the Healthcare Center	1回
地域創造支援センター Center for Regional Affairs	地域創造支援センター年報 Annual Report of Center for Regional Affairs	1回
	福島大学地域創造 Fukushima University Journal of Regional Affairs	2回
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education	総合教育研究センター紀要 Bulletin of Center for Research and Development of Education	2回
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization	うつくしまふくしま未来支援センター年報 Annual Report of Fukushima Future Center for Regional Revitalization	1回



サテライト等

SATELLITE ETC.

街なかランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA



街なかランチ舟場は、平成21年10月1日、福島市舟場町の職員会館を改修し、教職員の福利厚生施設及び地域との連携を推進する拠点施設として設置され、以下の事業を行っている。

- 地域社会、地域住民の福祉・文化の向上を支援
 - 地域の皆様を対象とした公開講座やセミナーなどを開講
 - 地域の皆様からの臨床心理・教育相談に対応
- 地域振興・産業の振興を支援
 - 産業界や地域との共同研究などを実施
 - 技術相談・経営相談などに対応
 - 産学連携研究会・産学連携セミナーを実施



CERAリエゾン・オフィス CERA Liaison Office

福島市内の「街なかランチ舟場」にリエゾン・オフィスを設け、福島大学と地域社会との間により密接な連携・協働・交流関係を築く場所として、『産・官・民・学』連携を目指し、リエゾン(橋渡し)活動を行う。

福島大学東京連絡事務所(東京都渋谷区)

Fukushima University Tokyo Liaison Office (Shibuya Ward, Tokyo)

本学学生が首都圏での就職活動やゼミ活動の連絡場所として、また、入試広報等の活動拠点とする目的のため、福島大学信陵同窓会東京信陵会「信陵会館」内に平成18年4月1日に開設。

うつくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライト (檜葉本所, 川内分室, 南相馬分室)

Soso Area Support Satellite
(Naraha Satellite, Kawauchi branch Office, Minamisoma branch Office)

うつくしまふくしま未来支援センターは、東日本大震災及び原発事故に伴い避難を余儀なくされた福島被災者と被災地域の復旧・復興の支援に取り組んでおり、相双地域支援サテライトは、現地と大学を繋ぐ拠点として被災地域に密着した活動を行っている。

国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE

学生交流協定校における交換留学 Student Exchanges

2017. 5. 1

年度 Year	派遣大学 Host Institution	人数 Number of Students	派遣元大学(受入) Home Institution	人数 Number of Students
29 2017	華東師範大学 East China Normal University	1	河北大学 Hebei University	10
	重慶理工大学 Chongqing University of Technology	1	重慶理工大学 Chongqing University of Technology	2
	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	1	コロラド州立大学 Colorado State University	1
	中央大学 Chung-Ang University	1	クィーンズランド大学 The University of Queensland	1
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	1	ルール大学ボーフム Ruhr-Universität Bochum	1
	オザークス大学 University of Ozarks	2	ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Applied Sciences	1
	クィーンズランド大学 The University of Queensland	1		
	ルール大学ボーフム Ruhr-Universität Bochum	1		
	ハノーファー大学 Leibniz University of Hanover	1		
	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	1		

海外協定校 International Partner Institutions

2017. 5. 1

国名 Nations	大学名 University	締結年月日 Effective Since
中華人民共和国 People's Republic of China	北京師範大学 Beijing Normal University	1990年12月11日 Dec. 11, 1990
	華東師範大学 East China Normal University	1995年7月1日 Jul. 1, 1995
	河北大学 Hebei University	1998年11月2日 Nov. 2, 1998
	中南財経政法大学 Zhongnan University of Economics and Law	2001年3月22日 Mar. 22, 2001
	西南交通大学 Southwest Jiaotong University	2011年9月1日 Sep. 1, 2011
台湾 Taiwan	重慶理工大学 Chongqing University of Technology	2014年10月29日 Oct. 29, 2014
	国立台北大学 National Taipei University	2007年4月3日 Apr. 3, 2007
大韓民国 Republic of Korea	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	2006年3月14日 Mar. 14, 2006
	ソウル市立大学校 University of Seoul	2011年1月27日 Jan. 27, 2011
	中央大学 Chung-Ang University	2014年11月19日 Nov. 19, 2014
ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 Vietnam National University Hanoi College of Social Sciences and Humanities	2001年6月20日 Jun. 20, 2001
	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学 Vietnam National University Hanoi College of Science	2007年9月24日 Sep. 24, 2007
	ホアセン大学 Hoa Sen University	2016年2月18日 Feb. 18, 2016
	トゥイロイ大学 ThuyLoi University	2016年12月6日 Dec. 6, 2016
インドネシア Republic of Indonesia	シアクアラ大学 Syiah Kurara University	2014年7月8日 Jul. 8, 2014
オーストラリア Australia	クイーンズランド大学 The University of Queensland	2001年10月26日 Oct. 26, 2001
アメリカ合衆国 United States of America	ウィスコンシン大学オークレア校 University of Wisconsin Eau Claire	1992年12月8日 Dec. 8, 1992
	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	1996年7月2日 Jul. 2, 1996
	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York	2012年12月26日 Dec. 26, 2012
	コロラド州立大学 Colorado State University	2013年6月3日 Jun. 3, 2013
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	2014年1月24日 Jan. 24, 2014
	オザークス大学 University of Ozarks	2015年6月10日 Jun. 10, 2015
カナダ Canada	ジョージア大学 University of Georgia	2015年9月2日 Sep. 2, 2015
	ブリティッシュコロンビア大学 University of British Columbia	2016年4月28日 Apr. 28, 2016
英国 The United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	スターリング大学 University of Stirling	2008年1月25日 Jan. 25, 2008
	ウィンチェスター大学 The University of Winchester	2010年5月29日 May. 29, 2010
	グラスゴー大学 University of Glasgow	2017年3月6日 Mar. 6, 2017
ドイツ連邦共和国 Federal Republic of Germany	ルール大学ボーフム Ruhr-Universität Bochum	2009年10月8日 Oct. 8, 2009
	ハノーファー大学 Leibniz University of Hanover	2015年6月10日 Jun. 10, 2015
	ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Applied Sciences	2016年4月21日 Apr. 21, 2016
ハンガリー Hungary	カーロリ・ガージュパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	2016年6月28日 Jun. 28, 2016
ルーマニア Romania	ブカレスト大学 University of Bucharest	2011年12月22日 Dec. 22, 2011
セルビア共和国 Republic of Serbia	ベオグラード大学 University of Belgrade	2017年3月6日 Mar. 6, 2017
ベラルーシ共和国 Republic of Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	2012年2月24日 Feb. 24, 2012
ロシア連邦 Russia	極東国立交通大学 Far Eastern State Transport University	2017年1月11日 Jan. 11, 2017
ウクライナ Ukraine	ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine	2015年4月1日 Apr. 1, 2015
	チェルニーヒウ国立工科大学 Chernihiv National University of Technology	2015年4月1日 Apr. 1, 2015
	オデッサ国立環境大学 Odessa State Environmental University	2015年4月1日 Apr. 1, 2015
ノルウェー王国 Kingdom of Norway	ノルウェー生命科学大学 Norwegian University of Life Sciences	2015年8月18日 Aug. 18, 2015
トルコ Republic of Turkey	アンカラ大学 Ankara University	2016年3月12日 Mar. 12, 2016
	中東工科大学 Middle East Technical University	2016年4月28日 Apr. 28, 2016
	エーグ大学 Ege University	2017年3月6日 Mar. 6, 2017

学生交流協定校における短期プログラム Short-term Programs

2016.4.1~2017.3.31

年度 Year	派遣大学 Host Institution	人数 Number of Students	派遣元大学(受入) Home Institution	人数 Number of Students
28 2016	中央大学 Chung-Ang University	4	重慶理工大学 Chongqing University of Technology	1
	クイーンズランド大学 The University of Queensland	16	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York	12
	コロラド州立大学 Colorado State University	7	コロラド州立大学 Colorado State University	6
	ルール大学ボーフム Ruhr-Universität Bochum	21	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	5
			オザークス大学 University of Ozarks	5
			ハノーファー大学 Leibniz University of Hanover	4
			アンカラ大学 Ankara University	7
			エーグ大学 Ege University	5

歴代学長

LIST OF FORMER AND CURRENT PRESIDENTS

西 沢 喜洋芽 NISHIZAWA Kiyome	昭24. 5.31 May. 31, 1949	～	昭29. 2.17 Feb. 17, 1954	渡 辺 源次郎 WATANABE Genjiro	昭54. 2.16 Feb. 16, 1979	～	昭56. 2.15 Feb. 15, 1981
阿 部 久 次 ABE Kyuji	昭29. 2.17 Feb. 17, 1954	～	昭32. 2.16 Feb. 16, 1957	伊 藤 巳喜夫 ITO Mikio	昭56. 2.16 Feb. 16, 1981	～	昭59. 2.15 Feb. 15, 1984
阿 部 久 次 ABE Kyuji	昭32. 2.17 Feb. 17, 1957	～	昭35. 2.16 Feb. 16, 1960	山 田 舜 YAMADA Akira	昭59. 2.16 Feb. 16, 1984	～	昭62. 2.15 Feb. 15, 1987
阿 部 久 次 ABE Kyuji	昭35. 2.17 Feb. 17, 1960	～	昭37.10.30 Oct. 30, 1962	山 田 舜 YAMADA Akira	昭62. 2.16 Feb. 16, 1987	～	平元. 2.15 Feb. 15, 1989
服 部 英太郎 HATTORI Eitaro	昭37.10.30 Oct. 30, 1962	～	昭40.10.29 Oct. 29, 1965	篠 笥 憲 爾 SASAKI Kenji	平元. 2.16 Feb. 16, 1989	～	平4. 2.15 Feb. 15, 1992
服 部 英太郎 HATTORI Eitaro	昭40.10.30 Oct. 30, 1965	～	昭40.12.20 Dec. 20, 1965	星 埜 惇 HOSHINO Atsushi	平4. 2.16 Feb. 16, 1992	～	平7. 2.15 Feb. 15, 1995
平 井 博 (事務取扱) HIRAI Hiroshi (acting)	昭40.12.20 Dec. 20, 1965	～	昭41. 2.18 Feb. 18, 1966	吉 原 泰 助 YOSHIHARA Taisuke	平7. 2.16 Feb. 16, 1995	～	平10. 2.15 Feb. 15, 1998
海 後 勝 雄 KAIIGO Katsuo	昭41. 2.18 Feb. 18, 1966	～	昭43.10.15 Oct. 15, 1968	吉 原 泰 助 YOSHIHARA Taisuke	平10. 2.16 Feb. 16, 1998	～	平12. 2.15 Feb. 15, 2000
玉 山 勇 (事務取扱) TAMAYAMA Isamu (acting)	昭43.10.15 Oct. 15, 1968	～	昭44.12. 4 Dec. 4, 1969	吉 原 泰 助 YOSHIHARA Taisuke	平12. 2.16 Feb. 16, 2000	～	平14. 2.15 Feb. 15, 2002
野 村 正 次 (事務取扱) NOMURA Masaji (acting)	昭44.12. 4 Dec. 4, 1969	～	昭46. 3.31 Mar. 31, 1971	白 井 嘉 一 USUI Yoshikazu	平14. 2.16 Feb. 16, 2002	～	平18. 3.31 Mar. 31, 2006
安 田 初 雄 (事務取扱) YASUDA Hatsuo (acting)	昭46. 4. 1 Apr. 1, 1971	～	昭48. 2.16 Feb. 16, 1973	今 野 順 夫 KONNO Toshio	平18. 4. 1 Apr. 1, 2006	～	平22. 3.31 Mar. 31, 2010
玉 山 勇 TAMAYAMA Isamu	昭48. 2.16 Feb. 16, 1973	～	昭51. 2.15 Feb. 15, 1976	入 戸 野 修 NITTONO Osamu	平22. 4. 1 Apr. 1, 2010	～	平26. 3.31 Mar. 31, 2014
渡 辺 源次郎 WATANABE Genjiro	昭51. 2.16 Feb. 16, 1976	～	昭54. 2.15 Feb. 15, 1979	中 井 勝 己 NAKAI Katsumi	平26. 4. 1 Apr. 1, 2014	～	

役 職 員

ADMINISTRATORS

2017. 5. 1

学 長 President	中 井 勝 己 NAKAI Katsumi
理事・副学長(総務担当) Executive Director・Vice President (General Affairs)	中 田 スウラ NAKATA Sura
理事・副学長(教育・学生担当) Executive Director・Vice President (Education and Academic Affairs) 総合教育研究センター長 Director, Center for Research and Development of Education	三 浦 浩 喜 MIURA Hiroki
理事・副学長(研究・地域連携担当) Executive Director・Vice President(Research and Regional Affairs) 統括学系長 Chair, Researchers' Department 地域創造支援センター長 Director, Center for Regional Affairs	小 沢 喜 仁 OZAWA Yoshihito
理事(財務・財務戦略・施設・基金担当) Executive Director(Finance, Financial Strategy, Facility and Fund Affairs) 事務局長 Director General	若 井 祐 次 WAKAI Yuji
監 事 Auditor	上 井 喜 彦 KAMII Yoshihiko
監 事 Auditor	橋 本 潤 子 HASHIMOTO Junko
副学長(広報・入試・就職・グローバル担当) Vice President(Public Relations, Admission, Employment and Global Affairs) 国際交流センター長 Director, International Center アドミッションセンター長 Director, Admission Center	真 田 哲 也 SANADA Tetsuya
副学長(学術情報・大学間連携担当) Vice President(Academic Information, Inter-University Affairs) 附属図書館長 Director, University Library 総合情報処理センター長 Director, Information Network Center	千 葉 悦 子 CHIBA Etsuko
保健管理センター所長 Director, Healthcare Center	小 室 安 宏 KOMURO Yasuhiro
うつくしまふくしま未来支援センター長 Director, Fukushima Future Center for Regional Revitalization	初 澤 敏 生 HATSUZAWA Toshio
環境放射能研究所長 Director, Institute Environmental Radioactivity	難 波 謙 二 NANBA Kenji
人文社会学群長 Provost, Cluster of Human and Social Sciences	鈴 木 典 夫 SUZUKI Norio
人間発達文化学類長 Dean, Faculty of Human Development and Culture	朝 賀 俊 彦 ASAKA Toshihiko
行政政策学類長 Dean, Faculty of Administration and Social Sciences	鈴 木 典 夫 SUZUKI Norio
経済経営学類長 Dean, Faculty of Economics and Business Administration	阿 部 高 樹 ABE Takaki
理工学群長 Provost, Cluster of Science and Technology	二 見 亮 弘 FUTAMI Ryoko
共生システム理工学類長 Dean, Faculty of Symbiotic Systems Science	二 見 亮 弘 FUTAMI Ryoko
附属幼稚園長 Kindergarten Principal	白 石 昌 子 SHIRAIISHI Masako
附属小学校長 Elementary School Principal	鶴 巻 正 子 TSURUMAKI Masako
附属中学校長 Junior High School Principal	川 本 和 久 KAWAMOTO Kazuhisa
附属特別支援学校長 Special Needs Education School Principal	飛 田 操 HIDA Misao

学長室長	Chief, office of the President	佐藤孝夫	SATO Takao
監査室長	Chief, Auditing Unit	高野佐知子	TAKANO Sachiko
総務課長	Chief, General Affairs Division	永田勇生	NAGATA Yuki
農学系教育研究組織設置準備事務室長	Chief, Preparation Office for Formation of Agricultural Education and Research Organization	山崎裕	YAMAZAKI Yutaka
人事課長	Chief, Personnel Division	阿久津秀美	AKUTSU Hidemi
財務課長	Chief, Financial Affairs Division	齋藤祐司	SAITO Yuji
施設課長	Chief, Facilities Division	佐藤秀樹	SATO Hideki
教務課長	Chief, Educational Affairs Division	三本木勝則	SAMBONGI Katsunori
学生課長	Chief, Student Affairs Division	齋藤正廣	SAITO Masahiro
就職支援課長	Chief, Employment Support Division	金野秀樹	KONNO Hideki
入試課長	Chief, Admissions Office	菅野芳昭	KANNO Yoshiaki
研究振興課長	Chief, Research Promotion Division	縣猛男	AGATA Takeo
地域連携課長	Chief, Regional Collaboration Division	高橋清典	TAKAHASHI Kiyonori
学術情報課長	Chief, Academic Information Division	佐藤和弘	SATO Kazuhiro

経営協議会委員

MANAGEMENT COUNCIL

2017. 5. 1

学外委員		
阿部正	学校法人福島学院評議員、元福島学院大学長、福島学院大学名誉教授	ABE Tadashi
斎藤美幸	有限会社水水晶酒造店常務取締役	SAITO Miyuki
櫻井泰典	福島県企画調整部長 ※職位委嘱	SAKURAI Taisuke
清水潔	弁護士	SHIMIZU Kiyoshi
田原博人	元福島大学監事・元宇都宮大学長	TABARA Hiroto
富田孝志	元財団法人福島県文化振興事業団理事長、元福島県教育長	TOMITA Takashi
早川信夫	NHK放送局解説委員室解説主幹	HAYAKAWA Nobuo
林由美子	株式会社タカラ印刷取締役会長	HAYASHI Yumiko
深澤秀樹	前株式会社福島キヤノン代表取締役社長	FUKASAWA Hideki
八島洋一	福島市総務部長 ※職位委嘱	YASHIMA Yoichi
渡邊博美	福島ヤクルト販売株式会社代表取締役会長	WATANABE Hiromi
学内委員		
中井勝己	学長	NAKAI Katsumi
中田スウラ	理事・副学長(総務担当)	NAKATA Sura
三浦浩喜	理事・副学長(教育・学生担当)、総合教育研究センター長	MIURA Hiroki
小沢喜仁	理事・副学長(研究・地域連携担当)、統括学系長、地域創造支援センター長	OZAWA Yoshihito
若井祐次	理事(財務・財務戦略・施設・基金担当)、事務局長	WAKAI Yuji
朝賀俊彦	人間発達文化学類長	ASAKA Toshihiko
鈴木典夫	行政政策学類長	SUZUKI Norio
阿部高樹	経済経営学類長	ABE Takaki
二見亮弘	共生システム理工学類長	FUTAMI Ryoko

教育研究評議会評議員

EDUCATION AND RESEARCH COUNCIL

2017. 5. 1

中井勝己	学長	NAKAI Katsumi
中田スウラ	理事・副学長(総務担当)	NAKATA Sura
三浦浩喜	理事・副学長(教育・学生担当)、総合教育研究センター長	MIURA Hiroki
小沢喜仁	理事・副学長(研究・地域連携担当)、統括学系長、地域創造支援センター長	OZAWA Yoshihito
若井祐次	理事(財務・財務戦略・施設・基金担当)、事務局長	WAKAI Yuji
真田哲也	副学長(広報・入試・就職・グローバル化担当)、国際交流センター長、アドミッションセンター長	SANADA Tetsuya
千葉悦子	副学長(学術情報・大学間連携担当)、附属図書館長、総合情報処理センター長	CHIBA Etsuko
朝賀俊彦	人間発達文化学類長	ASAKA Toshihiko
鈴木典夫	行政政策学類長	SUZUKI Norio
阿部高樹	経済経営学類長	ABE Takaki
二見亮弘	共生システム理工学類長	FUTAMI Ryoko
谷雅泰	人間発達文化学類	TANI Masayasu
中村恵子	人間発達文化学類	NAKAMURA Keiko
田村奈保子	行政政策学類	TAMURA Nahoko
垣見隆禎	行政政策学類	KAKIMI Takayoshi
伊藤宏	経済経営学類	ITO Hiroshi
佐野孝治	経済経営学類	SANO Koji
佐藤理夫	共生システム理工学類	SATO Michio
山口克彦	共生システム理工学類	YAMAGUCHI Katsuhiko
初澤敏生	うつくしまふくしま未来支援センター長	HATSUZAWA Toshiro
難波謙二	環境放射能研究所長	NANBA Kenji

収入・支出決算額(平成28年度)

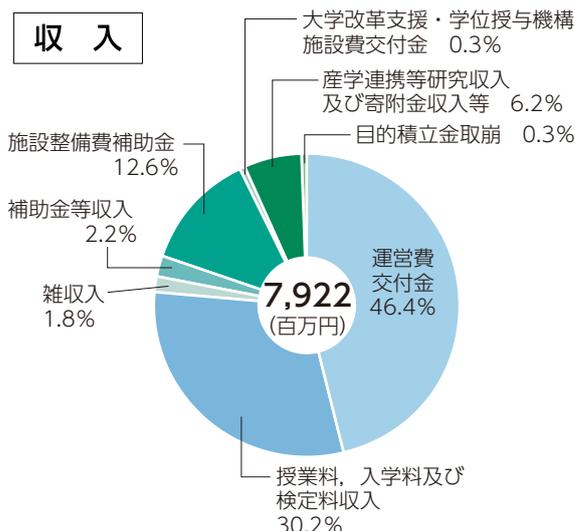
※金額は表示単位未満切捨てのため、必ずしも合計は一致しない。

CLOSING ACCOUNTS : REVENUE AND EXPENDITURE 2016

収 入 REVENUE

(百万円)

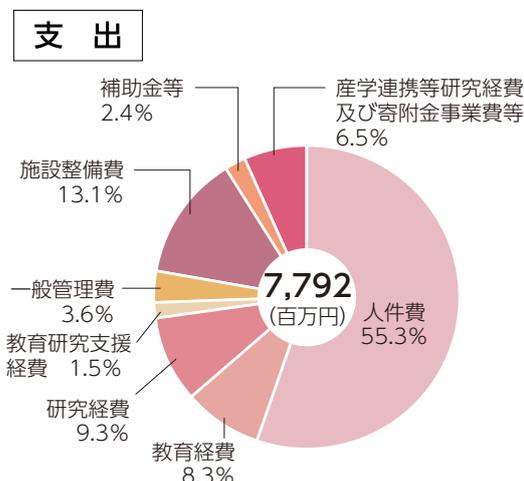
区 分 Division of Revenue	[28年度] Amount [2016]	[27年度] (参考) Amount [2015] (Ref.)
運 営 費 交 付 金 Total Grant for Management Expense	3,679	3,558
授業料, 入学科及び検定料収入 Tuition and Examination Fees	2,390	2,411
財 産 処 分 収 入 Income earned through Disposition of Property	—	—
雑 収 入 Miscellaneous Income	144	148
補 助 金 等 収 入 Subsidy Income	173	290
施 設 整 備 費 補 助 金 Subsidies for Maintenance of University Facilities	994	1,332
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 Grant-in-Aid from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	24	40
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 Income from Industry-University Cooperative Research and Donations	487	642
引 当 金 取 崩 Reserve Fund Reversal	0	—
目 的 積 立 金 取 崩 Purpose Reserve Fund Reversal	26	—
合 計 Total	7,922	8,424



支 出 EXPENDITURE

(百万円)

区 分 Division of Expenditure	[28年度] Amount [2016]	[27年度] (参考) Amount [2015] (Ref.)
人 件 費 Personal Expenses	4,309	4,394
教 育 経 費 Education Expenses	648	720
研 究 経 費 Research Expenses	728	660
教 育 研 究 支 援 経 費 Expenses for Supporting Education and Research	114	405
一 般 管 理 費 Administrative Expenses	279	305
施 設 整 備 費 Supplies and Equipment Cost	1,018	1,372
補 助 金 等 Subsidy	185	419
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 Budget for Industry-University Cooperative Research and Funding	507	423
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 Payment to the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	—	—
合 計 Total	7,792	8,702

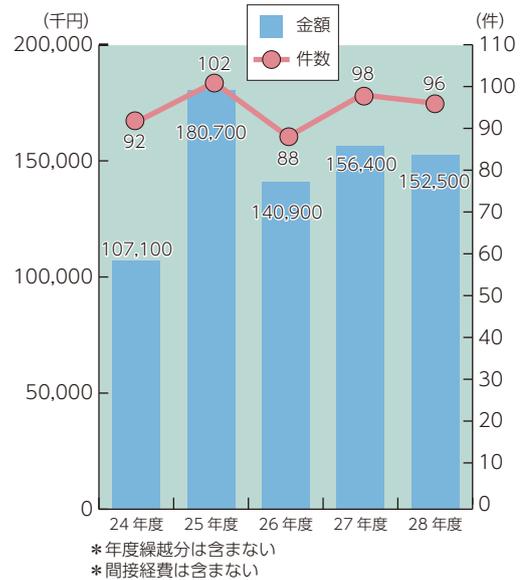


科学研究費助成事業

GRANT-IN-AID FOR SCIENTIFIC RESEARCH

平成28年度 Fiscal Year 2016

研究種目 Research Category	件数 Number	直接経費(千円) Direct Expenses (in thousand yen)	間接経費(千円) Indirect Expenses (in thousand yen)
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	1	1,400	420
基盤研究(S) Scientific Research (S)	1	27,000	8,100
基盤研究(A) Scientific Research (A)	0	0	0
基盤研究(B) Scientific Research (B)	10	36,800	11,040
基盤研究(C) Scientific Research (C)	48	48,200	14,460
挑戦の萌芽研究 Challenging Exploratory Research	5	3,500	1,050
若手研究(A) Young Scientists (A)	3	12,000	3,600
若手研究(B) Young Scientists (B)	24	19,400	5,820
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	2	1,900	570
研究成果公開促進費(学術図書) Publication of Scientific Research Results (Scientific Literature)	0	0	0
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	2	2,300	420
合計 Total	96	152,500	45,480

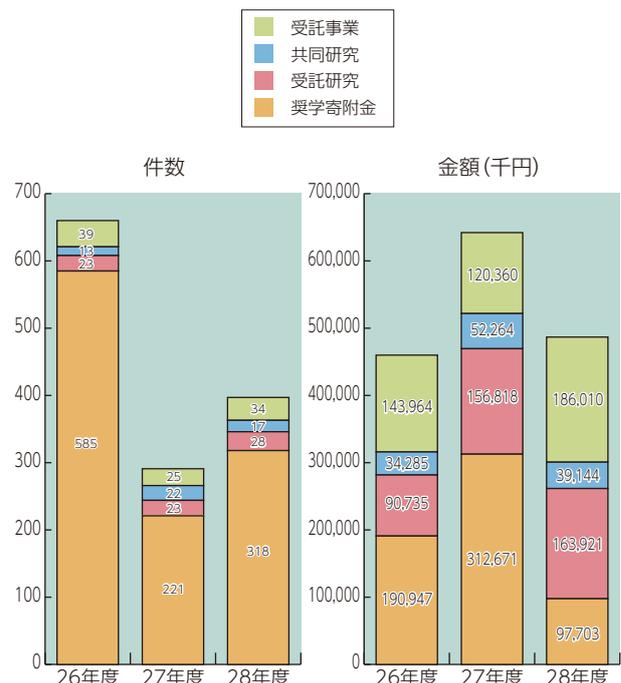


外部資金

FUNDS FROM OTHER SOURCES

平成28年度 Fiscal Year 2016

研究種目 Subject for Research	件数 Number	金額(千円) Amount
奨学寄附金 Grants and Endowments	318	97,703
受託研究 Contract Research	28	163,921
共同研究 Cooperative Research	17	39,144
受託事業 Trustee Business	34	186,010
合計 Total	397	486,778



役職員数

NUMBER OF EXECUTIVES, FACULTY AND STAFF

2017.5.1

区分 Division	職種 Job Classification	役員 Directors			教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	助手 Instructors	計 Sub Total	附属学校教員 Teachers of Special School	事務系職員 Administration Officers	合計 Total
		学長 President	理事 Executive Director	監事 Auditor									
現員 Number of Regular Staff		1	4	2*1	125	95	5	1	233	86	125*2	444	
役員 Number of Present Staff		1	4	2*1					7			7	
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture					41	24	1		66			66	
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences					23	19			42			42	
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration					24	22		1	47			47	
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science					26	21	2		49			49	
附属図書館 University Library												0	
保健管理センター Healthcare Center					1	1			2		2	4	
地域創造支援センター Center for Regional Affairs					1	1			2			2	
総合情報処理センター Information Network Center							1		1			1	
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education					3	3			6			6	
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization												0	
国際交流センター International Center												0	
アドミッションセンター Admission Center												0	
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity					3	2	2		7			7	
農学系教育研究組織設置準備室 Preparation Office for Formation of Agricultural Education and Research Organization					3	1			4			4	
附属幼稚園 Kindergarten										4		4	
附属小学校 Elementary School										29	1	30	
附属中学校 Junior High School										22		22	
附属特別支援学校 Special Needs Education School										31		31	
事務局 Administration Bureau											122	122	

*1 監事は非常勤 *2 各部署等に配置される職員を含む

入学志願者及び入学者

NUMBER OF APPLICANTS AND ENROLLED STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES 2017.5.1

学群・学類 Cluster・Faculty	年度 Year	29 2017	
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	入学志願者 Number of Applicants	1,197
		入学者 Number of Students Admitted	282
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	入学志願者 Number of Applicants	959
		入学者 Number of Students Admitted	217
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	入学志願者 Number of Applicants	960
		入学者 Number of Students Admitted	238
	夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	入学志願者 Number of Applicants	124
		入学者 Number of Students Admitted	64
	計 Sub Total	入学志願者 Number of Applicants	3,240
		入学者 Number of Students Admitted	801
理工学群 Cluster of Science and Technology	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	入学志願者 Number of Applicants	755
		入学者 Number of Students Admitted	192
	計 Sub Total	入学志願者 Number of Applicants	755
	入学者 Number of Students Admitted	192	
合計 Total	入学志願者 Number of Applicants	3,995	
	入学者 Number of Students Admitted	993	

大学院(修士課程・専門職学位課程・博士前期課程) GRADUATE SCHOOL 2017.5.1

研究科 Graduate School	年度 Year	25 2013	26 2014	27 2015	28 2016	29 2017
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	入学志願者 Number of Applicants	70	72	65	59	72
	入学者 Number of Students Admitted	45	42	41	38	51
地域政策科学研究科 Regional Policy and Administration	入学志願者 Number of Applicants	22	16	9	7	14
	入学者 Number of Students Admitted	15	10	8	7	10
経済学研究科 Economics	入学志願者 Number of Applicants	21	18	34	25	17
	入学者 Number of Students Admitted	16	10	27	15	14
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	4月期入学 入学志願者 Number of Applicants	52	31	44	43	62
	4月期入学 入学者 Number of Students Admitted	41	28	40	35	48
	10月期入学 入学志願者 Number of Applicants	2	0	1	1	1
	10月期入学 入学者 Number of Students Admitted	2	0	1	1	1
合計 Total	入学志願者 Number of Applicants	170	139	152	135	165
	入学者 Number of Students Admitted	121	92	116	96	123

※ 10月期入学は前年度の欄に計上

大学院(博士後期課程) GRADUATE SCHOOL 2017.5.1

研究科 Graduate School	年度 Year	25 2013	26 2014	27 2015	28 2016	29 2017
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	入学志願者 Number of Applicants	11	4	3	5	3
	入学者 Number of Students Admitted	8	4	3	5	3
合計 Total	入学志願者 Number of Applicants	11	4	3	5	3
	入学者 Number of Students Admitted	8	4	3	5	3

※ 編入学・学士入学は除く。

※ 外国人留学生を含む。

学生の定員及び現員

NUMBER OF STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES

2017.5.1

区分 Classification 学群・学類 Cluster・Faculty	課程及び学科 Course or Department	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現 員 Present Number of Students					合 計	
				1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total	合計 Total	
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences		765 ⑩	3,060 ⑩	403 398	402 396	451 386	541 425	1,797 1,605	3,402	
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		270 ⑩	1,080 ⑩	113 169	108 180	121 183	160 194	502 726	1,228	
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences		210 ⑩	840 ⑩	113 104	113 105	132 104	141 113	499 426	925	
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		225 ⑩	900 ⑩	141 97	145 83	166 71	187 84	639 335	974	
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society		60	240	36 28	36 28	32 28	53 34	157 118	275	
理工学群 Cluster of Science and Technology		180	720	153 39	152 41	161 33	201 37	667 150	817	
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		180	720	153 39	152 41	161 33	201 37	667 150	817	
合 計 Total		945 ⑩	3,780 ⑩	556 437	554 437	612 419	742 462	2,464 1,755	4,219	

- ※ 平成16.10全学再編により、教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組、理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17.4学生受入)。
- ※ ○は3年次編入学生定員で外数(人文社会学群:平成19.4~)。
- ※ 平成24年度から教育学部・行政社会学部・経済学部は在籍している学生がいらない為、廃止。
- ※ 黒文字は男子、赤文字は女子。

大学院(修士課程・専門職学位課程・博士課程) GRADUATE SCHOOLS

2017.5.1

研究科名 Graduate School	専攻名 Majors	課程名 Course	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現 員 Present Number of Students
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	教職実践専攻 Division of Professional Practice in Education	専門職学位課程 Professional Degree	16	16	8 8
	教職教育専攻 Teacher Development	修士課程 Master		11	7 8
	地域文化創造専攻 Creation of Regional Culture	修士課程 Master	17	37	17 20
	学校臨床心理専攻 School and clinical Psychology	修士課程 Master	7	16	8 18
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional administration	地域政策科学専攻 Public Policy and Region Administration	修士課程 Master	20	40	17 7
経済学研究科 Economics	経済学専攻 Economics	修士課程 Master	10	20	16 1
	経営学専攻 Business Administration	修士課程 Master	12	24	23 2
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	共生システム理工学専攻 Symbiotic Systems Science and Technology	博士前期課程 Master	60	120	74 14
		博士後期課程 Doctor	6	18	15 4
合 計 Total			148	302	185 82

- ※ 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がいらない為、廃止。
- ※ 黒文字は男子、赤文字は女子。
- ※ 経済学研究科の入学定員:平成25年度まで経済学専攻12名、経営学専攻10名。

卒業生数及び修了生数

NUMBER OF GRADUATES

学群・学類 UNDERGRADUATES

2017.5.1

区分 Classification 学群・学類 Cluster・Faculty	課程及び学科 Course or Department	H20~	H24	H25	H26	H27	H28	計 Total
		H23 2008~ 2011	2012	2013	2014	2015	2016	
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences		3,182	816	811	793	798	827	7,227
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		1,144	285	286	271	281	292	2,559
人間発達専攻 Human Development		513	120	116	114	123	122	1,108
文化探究専攻 Cultural Exploration		395	103	109	98	100	111	916
スポーツ・芸術創造専攻 Sports and Arts		236	62	61	59	58	59	535
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences		884	229	227	234	227	234	2,035
法学専攻 Law		305	59	80	90	61	50	645
地域と行政専攻 Community Management		409	141	109	104	106	121	990
社会と文化専攻 Social and Cultural Studies		170	29	38	40	60	63	400
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		926	247	235	224	244	241	2,117
経済分析専攻 Economic Analysis		138	46	44	45	54	48	375
国際地域経済専攻 International and Regional Economy		323	107	68	85	94	70	747
企業経営専攻 Business Administration		465	94	123	94	96	123	995
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society		228	55	63	64	46	60	516
文化教養モデル Culture and Liberal Arts		50	8	22	15	8	6	109
法政策モデル Law and Policy		40	11	6	9	5	9	80
コミュニティ共生モデル Community Building and Preservation		58	19	18	17	26	29	167
ビジネス探究モデル Business		80	17	17	23	7	16	160
理工学群 Cluster of Science and Technology		689	187	167	169	161	172	1,545
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		689	187	167	169	161	172	1,545
人間支援システム専攻 Human Support System		223	68	55	65	60	64	535
産業システム工学専攻 Industrial System		254	68	63	57	51	55	548
環境システムマネジメント専攻 Environmental System Management		212	51	49	47	50	53	462
合計 Total		3,871	1,003	978	962	959	999	8,772

※ 平成16.10全学再編により、教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組、理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17.4学生受入)

大学院 GRADUATE SCHOOL

2017.5.1

科・課程 Course	修了年度 Year	S52~	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計 Total
		H22 1977~ 2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	修士課程 Master	40	38	37	36	42	40	32	265
教育学研究科 Education	修士課程 Master	716	3						719
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional Administration	修士課程 Master	228	18	13	13	10	9	8	299
経済学研究科 Economics	修士課程 Master	305	15	16	19	13	10	18	396
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	修士課程 Master	79	5		1				85
	博士前期課程 Master		44	45	40	45	24	37	235
	博士後期課程 Doctor			3	4	4	2	2	15
合計 Total		1,368	123	114	113	114	85	97	2,014

※ 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がない為、廃止

学部 Faculty	区分 Classification	課程及び学科 Course or Department	S25～H23 1950～2011 計 Total
教育学部 Faculty Education			21,264 ※1
	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course		9,338 ※2
	中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course		5,222 ※2
	養護学校教員養成課程 Teachers Course for Mentally and Physically Handicapped Children		485 ※2
	幼稚園教員養成課程 Kindergarten Teachers Course		590 ※2
	生涯教育課程 Department of Lifelong Education		835 ※3
	学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training		1,337
	特別教科(理科)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Science Education)		601
	特別教科(保健体育)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Physical Education)		1,188
	その他 Others		7
2年課程 Two Year Courses	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course		1,004 ※4
	中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course		657 ※4
行政社会学部 Faculty of Administration and Social Sciences			4,554 ※1
昼間主コース Daytime-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department		2,469
	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department		1,058
夜間主コース Evening-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department		620
	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department		407
経済学部 Faculty of Economics			15,353 ※1
昼間主コース Daytime-centered Courses	経済学科 Economics Department		6,211 ※5
	経営学科 Business Administration Department		4,197 ※5
	現代経済課程 Contemporary Economics Course		838
	企業経営課程 Business Management Course		1,206
	国際経済社会課程 International Economics and Society Course		599
	産業情報工学課程 Industrial Economics Engineering Course		151
夜間主コース Evening-centered Courses	経済学科 Economics Department		919 ※5
	経営学科 Business Administration Department		717 ※5
	現代経済課程 Contemporary Economics Course		205
	企業経営課程 Business Management Course		310
短大 Junior College	経営学科 Business Administration Department		2,116 ※6
合 計 Total			43,287

- ※1 教育学部、行政社会学部、経済学部は平成17年度から学生募集停止
- ※2 小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程は平成11年度から学生募集停止
- ※3 生涯教育課程は平成7年4月設置
- ※4 2年課程は昭和33年度から学生募集停止
- ※5 経済学部経済学科、経営学科は平成8年度から学生募集停止
- ※6 短大は昭和55年3月廃止

専攻科 ONE-YEAR GRADUATE PROGRAM

専攻 Course	修了年度 Year	S31～H3 1956～1991 計 Total
教育専攻科 Education	保健体育専攻 Physical Education	30
	教育専攻 Pedagogy	8
	理科専攻 Science Education	19
経済学専攻科 Economics	経理経営専攻 Accounting and Management	24

卒業生就職状況(平成28年度)

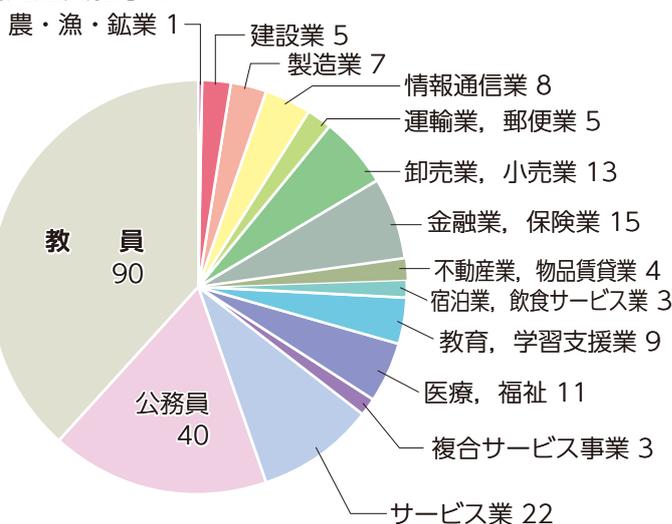
EMPLOYMENT AFTER GRADUATION

2017.5.1

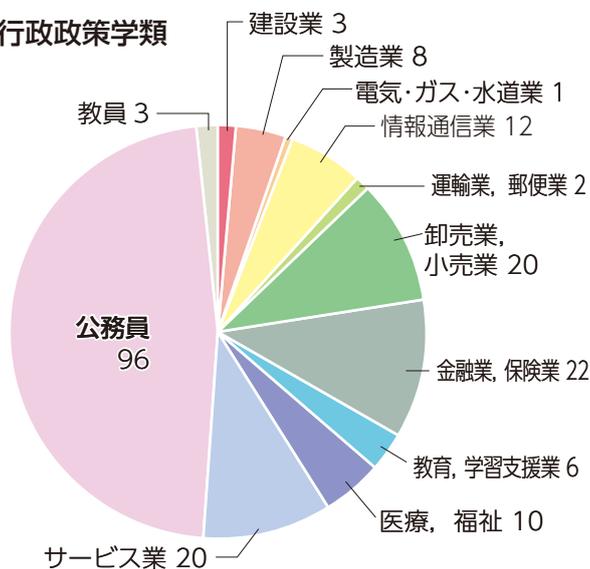
学類 Faculty 区分 Classification	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences		経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society		共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		合計 Total	
	人	計 Sub Total	人	計 Sub Total	人	計 Sub Total	人	計 Sub Total	人	計 Sub Total	人	計 Total
卒業 Total Graduates	97 195	292	132 102	234	169 72	241	31 29	60	130 42	172	559 440	999
就職 Total Employed	69 167	236	114 89	203	151 66	217	24 19	43	83 33	116	441 374	815
農・漁・鉱業 Agriculture・Fishing・Mining Industries	0 1	1	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 1	1
建設業 Construction	2 3	5	0 3	3	5 4	9	2 0	2	4 1	5	13 11	24
製造業 Manufacturing	1 6	7	6 2	8	8 2	10	1 2	3	17 5	22	33 17	50
電気・ガス・水道業 Public Services	0 0	0	1 0	1	4 1	5	0 0	0	0 1	1	5 2	7
情報通信業 Communication	3 5	8	9 3	12	18 5	23	2 2	4	14 7	21	46 22	68
運輸業, 郵便業 Transportation, Postal Service	3 2	5	2 0	2	3 0	3	0 0	0	4 1	5	12 3	15
卸売業, 小売業 Retail	8 5	13	11 9	20	25 13	38	6 4	10	8 2	10	58 33	91
金融業, 保険業 Banking, Insurance	2 13	15	8 14	22	28 18	46	4 1	5	2 3	5	44 49	93
不動産業, 物品賃貸業 Real Estate, Rental Services	2 2	4	0 0	0	2 4	6	0 0	0	2 0	2	6 6	12
宿泊業, 飲食サービス業 Accommodation, Food Services	0 3	3	0 0	0	2 4	6	0 2	2	0 0	0	2 9	11
教育, 学習支援業 Education, Learning Support	4 5	9	3 3	6	0 0	0	0 0	0	0 0	0	7 8	15
医療, 福祉 Medical, Welfare	0 11	11	3 7	10	2 1	3	0 4	4	1 0	1	6 23	29
複合サービス事業 Service-sector Corporations	0 3	3	0 0	0	3 1	4	1 1	2	2 1	3	6 6	12
サービス業 Service Industry	8 14	22	8 12	20	18 5	23	5 2	7	5 5	10	44 38	82
公務員 Public Services	5 35	40	60 36	96	29 8	37	3 1	4	20 4	24	117 84	201
教員 Teaching	31 59	90	3 0	3	3 0	3	0 0	0	4 2	6	41 61	102
自営業・その他 Self-Employment・Others	0 0	0	0 0	0	1 0	1	0 0	0	0 1	1	1 1	2
未定 Undetermined	5 2	7	2 5	7	7 1	8	0 0	0	3 1	4	17 9	26
進学者等 Furthering Studies	13 15	28	9 1	10	2 2	4	0 3	3	39 8	47	63 29	92
公務員等希望者 Preparing for Civil Exams	7 9	16	6 5	11	6 1	7	0 0	0	4 0	4	23 15	38
有職者 Already Employed	1 0	1	0 0	0	0 0	0	7 6	13	0 0	0	8 6	14
その他 Others	2 2	4	1 2	3	3 2	5	0 1	1	1 0	1	7 7	14
就職率 (%) Total Employment Rate	93.2% 98.8%	97.1%	98.3% 94.7%	96.7%	95.6% 98.5%	96.4%	100.0% 100.0%	100.0%	96.5% 97.1%	96.7%	96.3% 97.7%	96.9%

※ 上段(黒)は男子, 下段(赤)は女子。
※ 就職率(%) = 就職者 ÷ 就職希望者(就職者 + 未定)

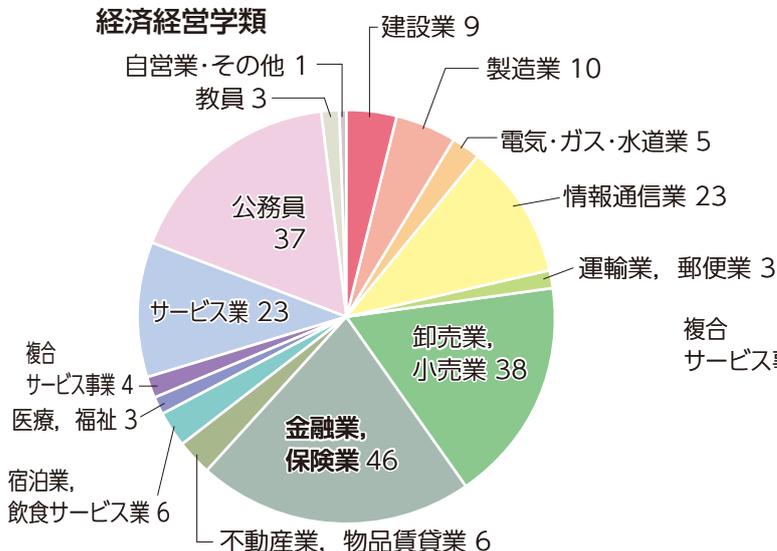
人間発達文化学類



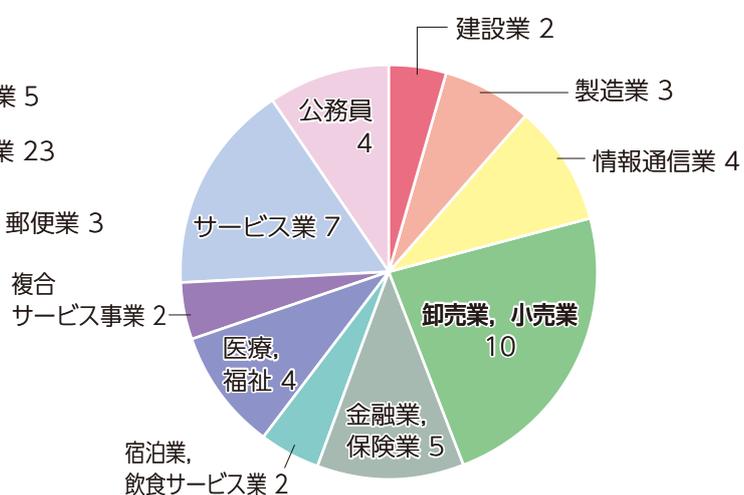
行政政策学類



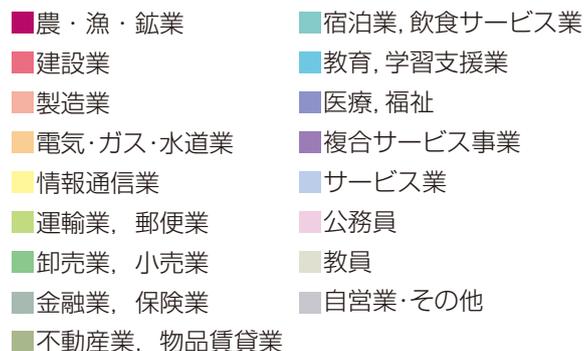
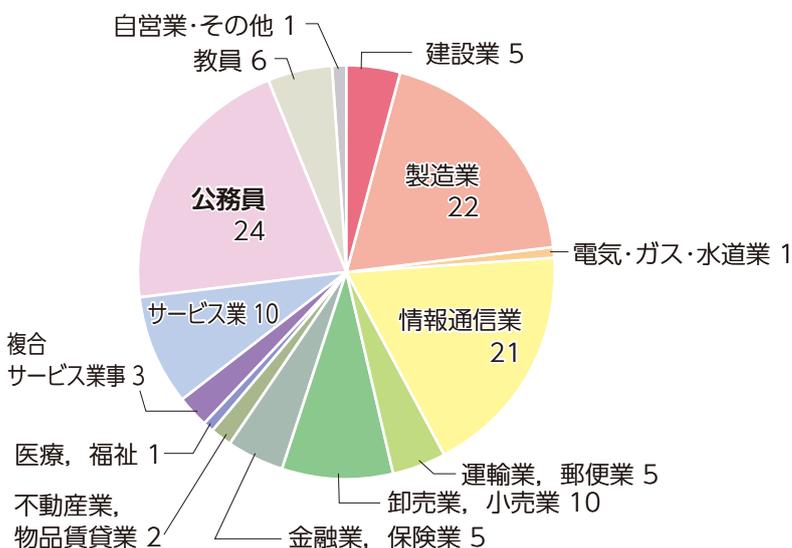
経済経営学類



夜間主コース (現代教養コース)



共生システム理工学類



外国人留学生数

NUMBER OF INTERNATIONAL STUDENTS

留学生数部局別内訳 FACULTIES

2017.5.1

区分 Classification 学類・大学院 Faculty・Graduate School	学類 Undergraduate School		大学院 Graduate School		計 Total
	正規生 Students	研究生等 Research Students	正規生 Students	研究生等 Research Students	
人間発達文化学類・人間発達文化研究科 Human Development and Culture	2	4	1	0	7
行政政策学類・地域政策科学研究科 Administration and Social Sciences- Public Policy and Regional Administration	4	10	2	0	16
経済経営学類・経済学研究科 Economics and Business Administration- Economics	15(1)	2	1	0	18(1)
共生システム理工学類・共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science- Symbiotic Systems Science and Technology	19	3	(博士前期)4(1)	0	28(2)
			(博士後期)2(1)		
計 Total	40(1)	19	10(2)	0	69(2)(1)

国別留学生数 NATIONALITIES

2017.5.1

区分 Classification 国・地域 Nation・Region	学類 Undergraduate School		大学院 Graduate School		計 Total
	正規生 Students	研究生等 Research Students	正規生 Students	研究生等 Research Students	
中華人民共和国 People's Republic of China	18	14	8(1)	0	40(1)
台湾 Taiwan	1	0	0	0	1
ベトナム Vietnam	20	1	1	0	22
マレーシア Malaysia	1(1)	0	0	0	1(1)
ドイツ Germany	0	3	0	0	3
オーストラリア Australia	0	1	0	0	1
フィジー Republic of Fiji	0	0	1(1)	0	1(1)
計 Total	40(1)	19	10(2)	0	69(2)(1)

- ※ 赤文字()は国費留学生で内数
- ※ 青文字()は外国政府派遣留学生で内数
- ※ 留学生数は在留資格が「留学」の者を計上

奨学生

SCHOLARSHIP STUDENTS

2017.5.1

区分 Classification 学類・大学院 Faculty・Graduate School	対象学生数 Number of Eligible Applicants	日本学生支援機構奨学生 Japan Student Services Organization				その他の奨学生 Other Scholarship	
		第1種 Loan 1	第2種 Loan 2	計 Total	比率(%) Ratio		
人文社会学群 Faculty of Human Development and Culture	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	897	245	207	452	50.4	16
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	677	189	134	323	47.7	6
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	706	209	166	375	53.1	8
	夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	194	62	26	88	45.4	6
理工学群 Faculty of Symbiotic Systems Science	580	158	131	289	49.8	12	
大学院 Graduate School	93	30	5	35	37.6	3	
合計 Total	3,147	893	669	1,562	49.6	51	

※基準日現在、1年生は未決定のため除く。

附属学校の定員及び現員

OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS

2017.5.1

区分 Classification 学校別 School	入学(園)定員 Applicant Capacity	総定員 Student Capacity	現 員 Present Number						合 計 Total	
			1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year		
附属幼稚園 Kindergarten	30	90	3才児 8	3 year olds 5	4才児 14	4 year olds 8	5才児 9	5 year olds 5	31 18	49
附属小学校 Elementary School	105	630	51 54	53 52	60 44	53 52	38 65	40 53	295 320	615
附属中学校 Junior High School	140	420	78 60	67 71	71 68				216 199	415
附属特別支援学校 Special Needs Education School	17	60	9 6	11 2	11 5	2 1	1 1	2 1	36 16	52
小学部 1-6	3	18	2 1	1 1	2 0	2 1	1 1	2 1	10 5	15
中学部 7-9	6	18	3 1	4 0	4 2				11 3	14
高等部 10-12	8	24	4 4	6 1	5 3				15 8	23
合 計 Total	292	1,200							578 553	1,131

※ 附属特別支援学校小学部は、1・2年、3・4年、5・6年で各1学級 計3学級
 ※ 黒文字は男子、赤文字は女子。



附属幼稚園
Kindergarten



附属小学校
Elementary School



附属中学校
Junior High School



附属特別支援学校
Special Needs Education School

国際交流会館

INTERNATIONAL HOUSE

2017.5.1

名 称 Room	1室当り面積 (㎡) Area	部屋数 Number of Rooms
単 身 室 Studio	12	38
夫 婦 室 One-Bedroom	35	5
家 族 室 Two-Bedroom	52	2
多 目 的 ホール Multipurpose Hall	112	1
和 室 Japanese Room	24	1
ランドリー・ルーム Laundry Room	14	2
談 話 室 Lounge	14	2
事 務 室 Office	19	1

※ 単身室は主に留学生用、夫婦室・家族室は研究者用。



国際交流会館
International House



多目的ホール
Multipurpose Hall

学 生 寮

DORMITORIES

2017.5.1

寮 名 Name	如月寮 Kisaragi Dormitory	信夫寮 Shinobu Dormitory	葵 寮 Aoi Dormitory
構 造・面 積 Structure・Area	R 5 F 3,466㎡	R 4 F 2,701㎡	R 4 F 2,654㎡
収 容 対 象 Occupants	男子学生 Male	男子学生 Male	女子学生 Female
室 Bedrooms	200	150	150
収 容 可 能 人 員 Capacity	200	150	150
現 員 Present Occupancy	193	148	146



学 生 寮
Dormitories

大学会館

UNIVERSITY HALL

2017.5.1

	施 設 名 Facilities	面積 (㎡) Area	席・畳数 Capacity
1 階 (1F)	大 食 堂 Large Cafeteria	1,046	714席
	売 店 Shop	294	
2 階 (2F)	Quick Lunch グリーン Quick Lunch Green	186	118席
	ロビー Lobby	98	

	施 設 名 Facilities	面積 (㎡) Area	席・畳数 Capacity
2 階 (2F)	大 集 会 室 Large Assembly Hall	270	250席
	小 集 会 室 Small Assembly Hall	35	32席
	//	46	32席
	//	32	32席
	和 室 Japanese Room	35	12畳
	学生総合相談室 Student Counseling Office	35	
	学生総合相談室分室 Student General Consultation Room Branch Office	18	
	//	22	
	厨 房・そ の 他 Kitchen and Others	1,067	



大学会館
University Refectory



大 食 堂
Large Cafeteria

土地・建物面積

PROPERTIES

2017.5.1

部局等 Division	土地 (㎡) Land	建物 (延㎡) Building	備考 Location
事務局・学類・附属図書館 Head Office・Faculties・Library	432,894	90,488	金谷川 Kanayagawa
附属小学校 Elementary School	18,804	9,018	新浜町 Shinhamacho
附属中学校 Junior High School	34,808	6,177	浜田町 Hamadacho
附属特別支援学校 Special Needs Education School	12,031	4,307	八木田 Yagita
附属幼稚園 Kindergarten	5,033	615	浜田町 Hamadacho
国際交流会館 International House	5,439	1,412	舟場町 Funabacho
街なかランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA		402	
山の家 Mountain Lodge	5,843	419	高湯 Takayu
如春荘 Joshunso	1,249	273	森合 Moriai
艇庫 Boathouse	997	342	木幡 Kohata
桜木町住宅 Sakuragicho Accommodation	2,185	1,461	桜木町 Sakuragi-cho
野田住宅 Noda Accommodation	8,769	4,675	野田町 Noda-machi
松浪住宅 Matsunami Accommodation	1,753	1,338	松浪町 Matsunami-cho
その他 Others	5,788	0	
計 Total	535,593	120,927	

金谷川団地屋外体育施設の現況 OUTDOOR SPORTS FACILITIES

名称 Name	内容 Area
陸上競技場 Athletic Field	400mトラック(第4種公認)全天候 1面
バレーコート Volleyball Courts	(夜間照明) 5面
テニスコート Tennis Courts	(一部全天候・夜間照明) 10面
プール Swimming Pool	9コース 50m(公認) 1基
ハンドボールコート Handball Field	1面
野球場 Baseball Field	両翼90m, 中堅100m (夜間照明) 1面
サッカー・ラグビー場 Football Field	(夜間照明) 1面
ゴルフ練習場 Golf Field	9打席 1面
馬場 Riding Ground	1面

金谷川団地建物の現況 CAMPUS FACILITIES

名称 Name	構造 Structure	延面積 (㎡) Space
人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture-Bldg.	SR7F	5,979
行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences-Bldg.	SR8F	5,690
経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration-Bldg.	SR8F	6,710
共生システム理工学類棟 Faculty of Symbiotic Systems Science-Bldg.	SR7F	5,855
附属図書館 University Library	R3F・4F	10,638
保健管理センター Healthcare Center	R2F	441
総合情報処理センター Information Network Center	R3F	2,204
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education	R4F	1,995
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization	R5F	2,530
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity	SR6F	3,994
環境放射能研究所試料保存棟 Sample Storage Facility	S1F	583
環境放射能研究所分析棟 Analytical Laboratory	S2F	1,360
本部管理棟 Headquarters	R4F	2,440
学生活動センター Building for Student Council	S2F	229
講義棟(L棟) Lecture Halls	R1F	1,621
// (M棟)	R3F	2,755
// (S棟)	R4F	4,360
体育館 Gymnasium	RS1F・2F	2,652
第2体育館 2nd Gymnasium	RS2F	1,126
保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.	R2F	924
音楽棟 Music Bldg.	R3F	1,190
美術棟 Fine Arts Bldg.	R2F	1,267
理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory	S7F	3,862
総合研究棟(理工系) SSS Research Laboratory	S7F	2,995
理工共通棟 SSS Technical Laboratory	R1F	404
共生システム理工学類後援募金記念棟 Memorial Laboratory of Supporters Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science	RC1F	334
ユニット棟 Temporary Administration Building	S2F	121
宇宙線観測室 Cosmic Rays Observatory	S1F	43
学生会館 University Refectory	R2F	3,184
文化系サークル棟 Building for Student Societies	R3F	885
体育系サークル棟 Varsity Building	R2F	710
更衣室 Locker Room	R1F	87
合宿研修施設 Training House	R1F	174
弓道場(5人立) Archery Field	S1F	120
厩舎 Stable	R1F	95
学生寮管理棟 Dormitory Administrative Office	R1F	260
// 如月寮 Kisaragi Dormitory	R5F	3,466
// 信夫寮 Shinobu Dormitory	R4F	2,701
// 葵寮 Aoi Dormitory	R4F	2,654
警務員室 Security Office	R1F	34
西門警務員室 Security Office	R1F	10
車庫 Garage	R1F	219
中央機械室 Power Supply Center	R2F	883
受水槽ポンプ室 Pump Room	R1F	130
中水処理施設 Sewage Disposal Plant	RS1F	116
その他 Others		458
計 Total		90,488



附属学校 OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS
附属小学校 Elementary School



- ① 小学校校舎(南校舎)
School Building (south school building)
- ② // (北校舎)
(north school building)
- ③ 小学校体育館
Gymnasium

附属中学校・附属幼稚園 Junior High School, Kindergarten



- ① 中学校校舎
Junior High School Building
- ② // 体育館
Gymnasium
- ③ 幼稚園園舎
Kindergarten
- ④ // 幼児教育センター
Early Childhood Education Center

附属特別支援学校 Special Needs Education School



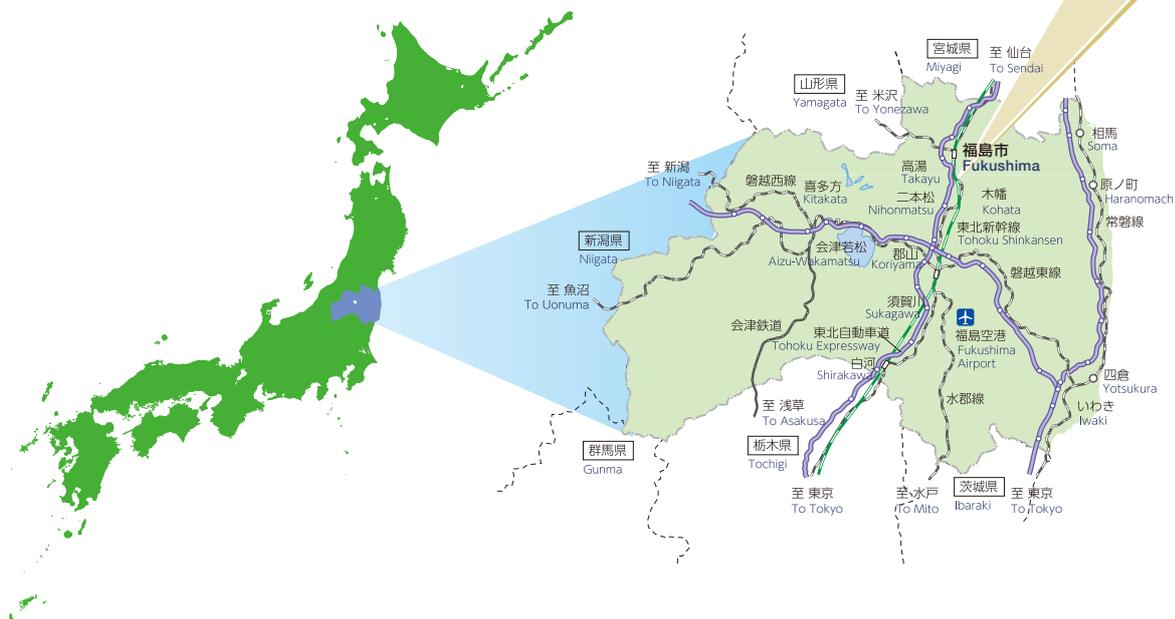
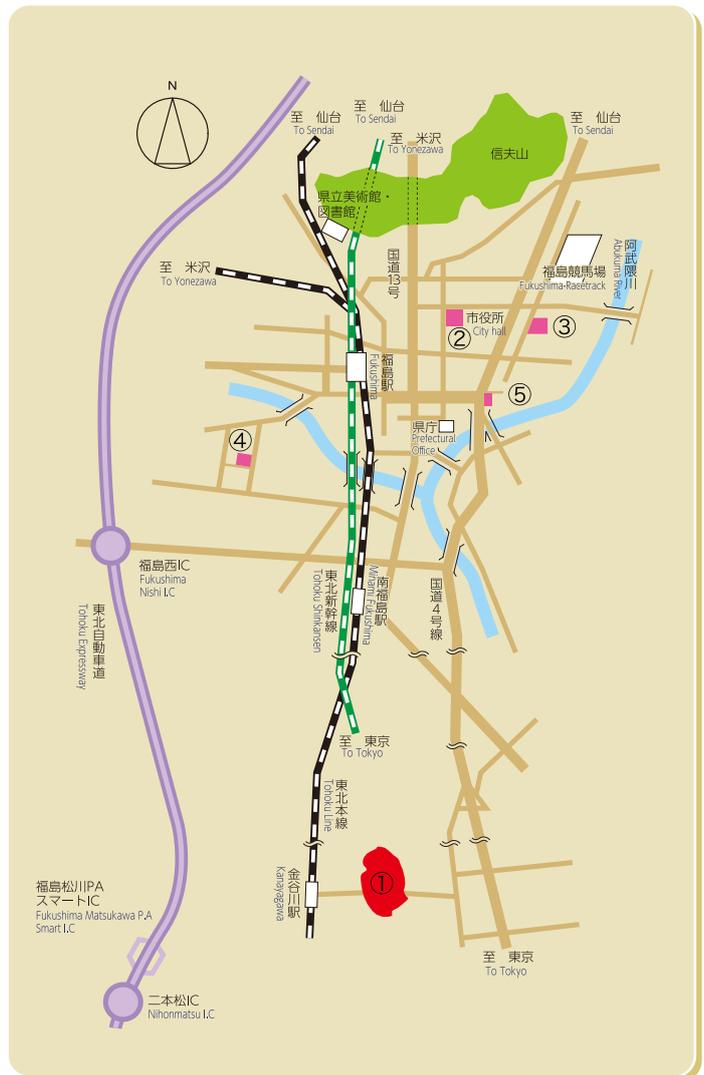
- ① 特別支援学校校舎(小学部)
School Building (1-6)
- ② // (中学部)
(7-9)
- ③ // (高等部)
(10-12)
- ④ // 体育館
Gymnasium
- ⑤ // 木工室
Woodworking Room
- ⑥ // 日常生活訓練施設
Training Facility

部局等の所在地案内図

LOCATION OF OFFICES

交通機関案内 TRANSPORTATION

- ① 福島大学 Fukushima University
JR東北本線「金谷川駅」下車徒歩10分
Take the Tohoku-Line from Fukushima Station to Kanayagawa Station, which takes about 10 minutes. Then about 10 minutes on foot.
- ② 附属小学校 Elementary School
福島交通福島駅東口バス発着所から市内循環1コース約10分、「附属小前」下車
Take the "Round 1" course bus at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fuzokusho". (It takes 10 minutes)
- ③ 附属中学校 Junior High School
附属幼稚園 Kindergarten
福島交通福島駅東口バス発着所から伊達・藤田・保原方面行乗車、約8分、「東高校前」下車徒歩5分
Take the bus for "Date・Fujita・Hobara" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Higashiko". It takes about 8 minutes, then 5 minutes on foot.
- ④ 附属特別支援学校 Special Needs Education School
福島交通福島駅東口バス発着所から荒井・土湯方面行乗車約15分、「福島ふそう前」下車徒歩5分
Take the bus for "Arai・Tsuchiyu" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fukushima-Fuso". It takes 15 minutes, then 5 minutes on foot.
- ⑤ 国際交流会館 International House
福島大学サテライト「街なかランチ舟場」 Fukushima University Satellite [Machinaka Branch FUNABA]



部局等の所在地及び電話番号

CONTACT ADDRESSES

2017.5.1

部 局 等 Division		電 話 番 号 Telephone	所 在 地 Address
人文 社会 学群	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	024-548-8103	〒960-1296 福島市金谷川1番地
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	024-548-8253	
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	024-548-8353	
理工 学群	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	024-548-5213	
附 属 図 書 館 University Library		024-548-8083	〒960-1293 福島市金谷川1番地
保 健 管 理 セ ン タ ー Healthcare Center		024-548-8068	〒960-1296 福島市金谷川1番地
地 域 創 造 支 援 セ ン タ ー Center for Regional Affairs		024-548-8012	
総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー Information Network Center		024-548-8018	
総 合 教 育 研 究 セ ン タ ー Center for Research and Development of Education		024-548-8110	
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center For Regional Revitalization		024-504-2865	
国 際 交 流 セ ン タ ー International Center		024-503-3067	
ア ド ミ ッ シ ョ ン セ ン タ ー Admission Center		024-548-8052	
環 境 放 射 能 研 究 所 Institute of Environmental Radioactivity		024-504-2114	
事 務 局 Administration Bureau		学 長 室 024-548-5224 監 査 室 024-548-5193 総 務 課 024-548-8006 農学系教育研究組織設置準備事務局 024-548-8212 人 事 課 024-548-8007 財 務 課 024-548-8016 施 設 課 024-548-8021 教 務 課 024-548-8053 学 生 課 024-548-8061 就 職 支 援 課 024-548-8108 入 試 課 024-548-8064 研 究 振 興 課 024-548-8009 地 域 連 携 課 024-548-8012 学 術 情 報 課 024-548-8083	
如 月 寮 Kisaragi Dormitory			
信 夫 寮 Shinobu Dormitory			
葵 寮 Aoi Dormitory			

※平成12年地名変更 金谷川←松川町浅川字直道

附 属 幼 稚 園 Kindergarten	024-534-7962	〒960-8107 福島市浜田町12番39号
附 属 小 学 校 Elementary School	024-534-6441	〒960-8022 福島市新浜町4番6号
附 属 中 学 校 Junior High School	024-534-6442	〒960-8107 福島市浜田町12番26号
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School	024-546-0535	〒960-8164 福島市八木田字並柳71番地
国 際 交 流 会 館 International House	024-521-2428	〒960-8103 福島市舟場町4番30号
如 春 荘 Joshunso		〒960-8003 福島市森合字台13番地9号
艇 庫 Boathouse		〒964-0203 二本松市木幡字西和代191番地9号
桜 木 町 住 宅 Sakuragicho Accommodation		〒960-8133 福島市桜木町8番1号
野 田 住 宅 Noda Accommodation		〒960-8055 福島市野田町五丁目7番
松 浪 住 宅 Matsunami Accommodation		〒960-8114 福島市松浪町1番29号



- 全体の形は、福島大学の頭文字「F」を表している。縦長の長方形は、大地（地域）にしっかりと根を下ろしている様を、二つの躍動感あふれるフォルムは、軽やかで爽やかな風がキャンパスを吹き抜ける様を表している。
- 下の葉は学生の新しい芽吹きを想起させる「若草色」上の葉は変化と広がりを感じさせる「青のグラデーション」
- 二枚の葉は、伝統に根ざした発展と伝統を継承する「人文社会学群」と、新しく創設した「理工学群」を表している。
- 全体として、文理融合による教育重視の人材育成大学の発展への願いを託している。



福島大学公式マスコットキャラクター
「めばえちゃん」

- 福島県阿武隈高地の深い森に棲んでいた木の妖精で、4才の女の子。
- 平成29年4月に福島大学公式マスコットキャラクターとして任命された。

【平成29年7月 発行】

福島大学総務課

〒960-1296 福島市金谷川1番地
TEL 024-548-5190
<http://www.fukushima-u.ac.jp/>